

2 4 循環器・呼吸器病センター A 病棟外部改修工事

図 面 リ ス ト					
建 築					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A - 00	図面リスト	NONE	A - 20	建具表	1/100
A - 01	特記仕様書（改修その１）	NONE	A - 21	外部階段詳細図	1/20・1/50
A - 02	特記仕様書（改修その２）	NONE	A - 22	玄関詳細図	1/10・1/30
A - 03	特記仕様書（改修その３）	NONE	A - 23	霊安室増築部詳細図	1/10・1/20・1/30
A - 04	特記仕様書（改修その４）	NONE	A - 24	防水改修部分詳細図（１）	1/20
A - 05	特記仕様書（改修その５）	NONE	A - 25	防水改修部分詳細図（２）	1/20
A - 06	案内図・配置図	1/800	A - 26	部分詳細図	1/20
A - 07	外部仕上表	NONE	A - 27	仮設計画図（参考）	1/600
A - 08	1階平面図	1/100	A - 28	仮設足場計画図（参考）	1/200
A - 09	2階平面図	1/100			
A - 10	3階平面図	1/100			
A - 11	4階平面図	1/100			
A - 12	R階平面図	1/100			
A - 13	立面図（１）	1/100			
A - 14	立面図（２）	1/100			
A - 15	外壁劣化調査図（１）	1/100			
A - 16	外壁劣化調査図（２）	1/100			
A - 17	矩計図	1/30			
A - 18	天井伏図	1/200			
A - 19	建具キープラン	1/200			

	地方独立行政法人埼玉県立病院機構	管理幹	主 幹	主 査	主 査	担当	 株 式 会 社 共 同 設 計 社 1 級 建 築 士 事 務 所 ・ 1 級 建 築 士 大 臣 登 録 第 1 0 7 4 0 1 号 栗 田 政 明	設計年月日	2025年02月10日	査閲	設計	製図		工事名称	2 4 循 環 器 ・ 呼 吸 器 病 セ ン ター A 病 棟 外 部 改 修 工 事		図面番号	A - 0 0
									図面名称					図 面 リ ス ト		縮尺	N O N E	
									変更年月日									

[illegible]

35

階段滑り止め

・ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材

形状 ※タイプライター（タイヤ）の材質：ゴム又は合成樹脂等） ・タイラース製
端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし
寸法（幅） ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法

(20. 2. 7)

36

黒板及び
ホワイトボード

・黒板 区分 ※焼き付け
種類 ・ほうろう ・銅製
色 ※緑
・ホワイトボード（ ）

(20. 2. 9)

37

表示

衝突防止表示
・設置場所 ※図示による
形状・寸法（ ）
材質（ ）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
・案内板、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、
取付け形式等（案内用記号はJIS Z 8210による）
※図示による

(20. 2. 11)

38

タラップ

材質及び仕上げ
・ SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし）
・銅製 表面処理 溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14. 2. 2による種別（※C種 ・種））

(20. 2. 12)

39

ブラインド

形式 操作 操作方法的の種類 スラットの材質 スラット幅（mm） ｵｯｸｽ・ﾚｰﾙの材質 幅・高さ 取付箇所

・横形 ・手動 ※ギヤ式 ・コード式 ・銅製 ・図示
・電動 ※操作棒式

・縦形 ・手動 ※2本操作棒式 ・7ｽﾗｯﾄ ・80 ※7ｽﾗｯﾄ
・1本操作棒式 ・ｸﾘｽﾀﾙ ・100 合金製 ・図示
・電動 —

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は となる

操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
幅・高さ、取付箇所 ・図示
材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は となる

(20. 2. 14)

40

ロールスクリーン

・スプリング式 ・コード式 ・電動式
・図示
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は となる

(20. 2. 15)

41

カーテン

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付け 箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ ・アレンひだ			・図示
					（暗幕）

生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、 となる
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

(20. 2. 16)

42

カーテンレール

材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
・種類（標準仕様書表14. 2. 1） ・BC-1種 ・BC-2種
・色合い 標準色（ ） 特注色（ ）
・銅製（仕上げ）

(20. 2. 16)

43

ブラインドボックス
及びカーテンボックス

幅幅×深さ（mm） ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示

材質 ・集成材（仕上げ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
・種類（標準仕様書表14. 2. 1） ・BC-1種 ・BC-2種
・色合い 標準色（ ） 特注色（ ）
・銅製（仕上げ）

(20. 2. 16)

44

天井点検口

材質	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用	・縦縁タイプ ・縦縁タイプ ・目地タイプ ・目地タイプ

(20. 2. 16)

45

床点検口

材質	寸法	形式	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・銅製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・鍵付き ・屋内用

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。

(20. 2. 16)

46

くつふきマット

材質	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製	・ステンレス製（SUS304） ・硬質アルミニウム合金	

(20. 2. 16)

47

流し台ユニット

材質	寸法（mm）			備考
	W	D	H	
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式

品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状 ※図示

(20. 2. 16)

48

銅製書架及び物品棚

種 類	規 格 等	JIS による種類
・銅製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・銅製物品棚		・4種 ・5種 ・6種

(20. 2. 16)

49

屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り

(20. 2. 16)

50

洗面カウンター

材質 ・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材） ・人工大理石
奥行（mm） ・約450 ・約600

(20. 2. 16)

51

防煙垂れ壁

・固定式

材 質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備 考
※納入り磨板ガラス ・納入り磨板ガラス	※6. 8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種 類	材 質	高さ（mm）	備 考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置（埋込型）

(20. 2. 16)

52

収納家具

材質、形状、寸法 ※図示
材質のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

(20. 2. 16)

7

塗装改修工事

①材料

②下地調整

③素地ごしらえ

④錆止め塗料塗り

⑤塗装

(20. 2. 16)

8

耐震改修工事

特記仕様書（改修その7～8）による

(20. 2. 16)

9

環境配慮改修工事

①石綿粉じん濃度測定

②石綿含有吹付け材の除去（レベル1）

③石綿含有吹付け材等の除去（レベル2）

④石綿含有成形板の除去（レベル3）

⑤石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル3）

⑥PCB含有シーリング材処分

⑦外断熱改修工事

⑧外断熱改修工事

⑨外断熱改修工事

⑩外断熱改修工事

⑪外断熱改修工事

⑫外断熱改修工事

⑬外断熱改修工事

⑭外断熱改修工事

⑮外断熱改修工事

⑯外断熱改修工事

⑰外断熱改修工事

⑱外断熱改修工事

⑲外断熱改修工事

⑳外断熱改修工事

㉑外断熱改修工事

㉒外断熱改修工事

㉓外断熱改修工事

㉔外断熱改修工事

㉕外断熱改修工事

㉖外断熱改修工事

㉗外断熱改修工事

㉘外断熱改修工事

㉙外断熱改修工事

㉚外断熱改修工事

㉛外断熱改修工事

㉜外断熱改修工事

㉝外断熱改修工事

㉞外断熱改修工事

㉟外断熱改修工事

㊱外断熱改修工事

㊲外断熱改修工事

㊳外断熱改修工事

㊴外断熱改修工事

㊵外断熱改修工事

㊶外断熱改修工事

㊷外断熱改修工事

㊸外断熱改修工事

㊹外断熱改修工事

㊺外断熱改修工事

㊻外断熱改修工事

㊼外断熱改修工事

㊽外断熱改修工事

㊾外断熱改修工事

㊿外断熱改修工事

(20. 2. 16)

8

断熱・防露改修工事

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9. 3. 2~4]
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
工法
・断熱材打込み工法
種類 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ（mm）
施工箇所
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
厚さ（mm） ・25 ・30
施工箇所 図示
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・厚さ（mm）
・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
材質 ・厚さ（mm）
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張付け工法

(9. 4. 2~4)

9

屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
の施工
・敷設する（種類）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
新植した芝及び地被類の枯枯償の期間 ※引き渡しの日から1年 ・

(9. 5. 2~5、9)

10

透水性アスファルト
舗装改修工事

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示
路床の材料

種 別	材 料	厚さ（mm）
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 となる	・図示
・凍上抑制層	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（・特号・1号） ・消石灰（・特号・1号） 添加量（ ） kg/m ³ （目標CBR ※3以上） 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・不織布ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/㎡以上 厚さ（mm） ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm（10kgf/5cm） 以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上	・図示
・フィルター層	・改修標準仕様書9. 5. 3(2) による	・図示

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う ・行わない
・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
安定処理の方法 置き換え工法（ ） ・安定処理工法
路床安定処理用添加材料の種類
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号・1号） ・消石灰（・特号・1号）
添加量（ ） kg/m³（目標CBR ※3以上）
目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験
・不織布ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/㎡以上
厚さ（mm） ・0.5~1.0
引張強さ ・98N/5cm（10kgf/5cm） 以上
透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec以上

試験
路床土の支持力（CBR）試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示
路盤材料（改修標準仕様書表9. 7. 3による種別）
・クラッシャー
・粒度調整砕石
・再生クラッシャー となる
・再生粒度調整砕石 となる
・クラッシャー鉄鋼スラグ となる
・粒度調整鉄鋼スラグ となる
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ となる
舗装の平たん性 ※著しく不陸がないもの
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

(9. 5. 2~5、9)

11

舗装版切断時に
発生する濁水の処理
（舗装版切断時に発生する濁水の
処理に係る特記仕様書）

濁水の処理
1）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
種類及び処理量 ・図示による
処理方法
・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）
・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）
2）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
1）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
2）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
3）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
4）受注者は、濁水の処理に関する契約を締結しなければならないものとする。
法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
提出書類等
1）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
2）受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
1）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
2）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
3）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

(9. 2. 1~4)

12

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

13

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

14

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

15

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

16

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

17

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

18

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

19

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

20

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

21

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

22

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

23

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

24

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

25

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

26

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

27

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

28

外断熱改修工事

断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存外装の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり（ mm） 外装材の外壁への取付け ・図示 並木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製支柱による		

(9. 2. 1~4)

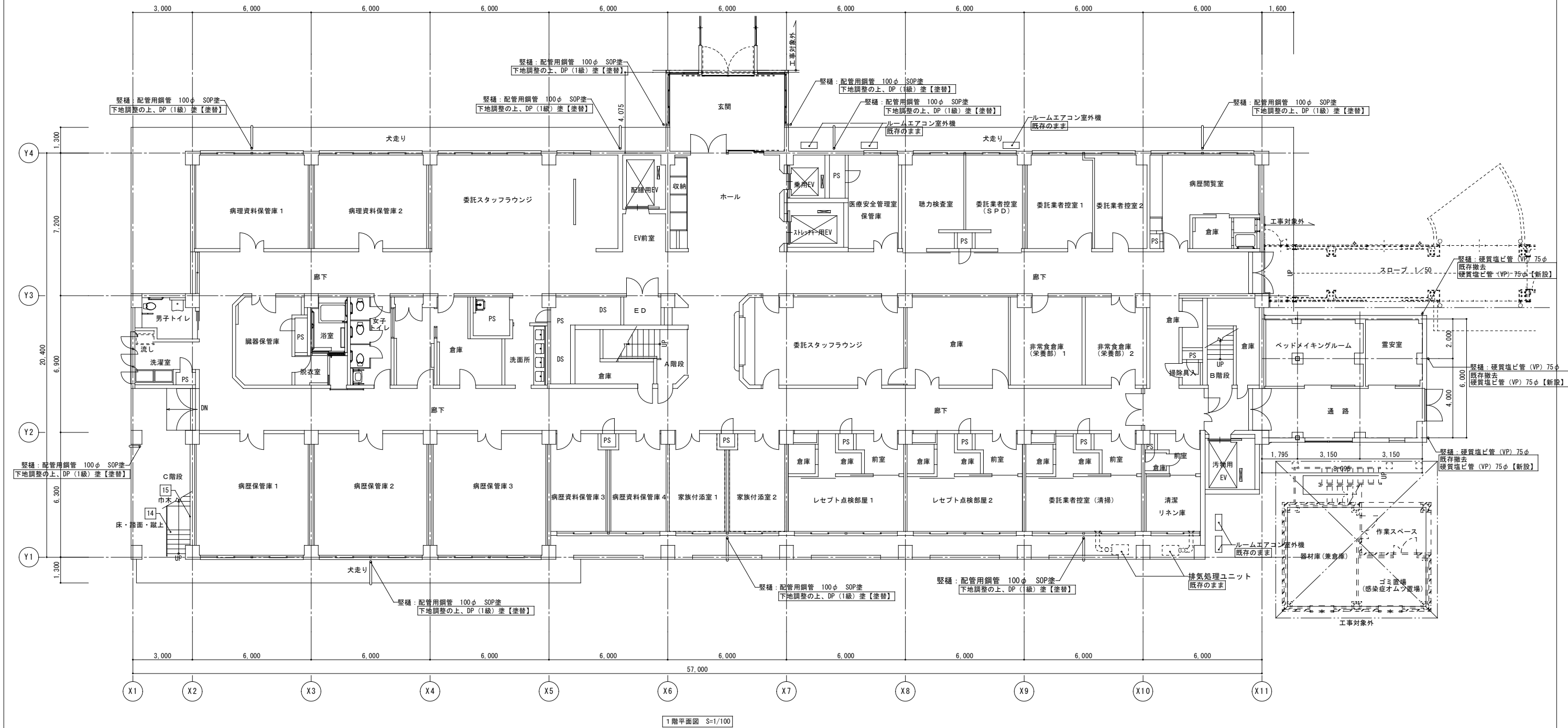
29

外断熱改修工事

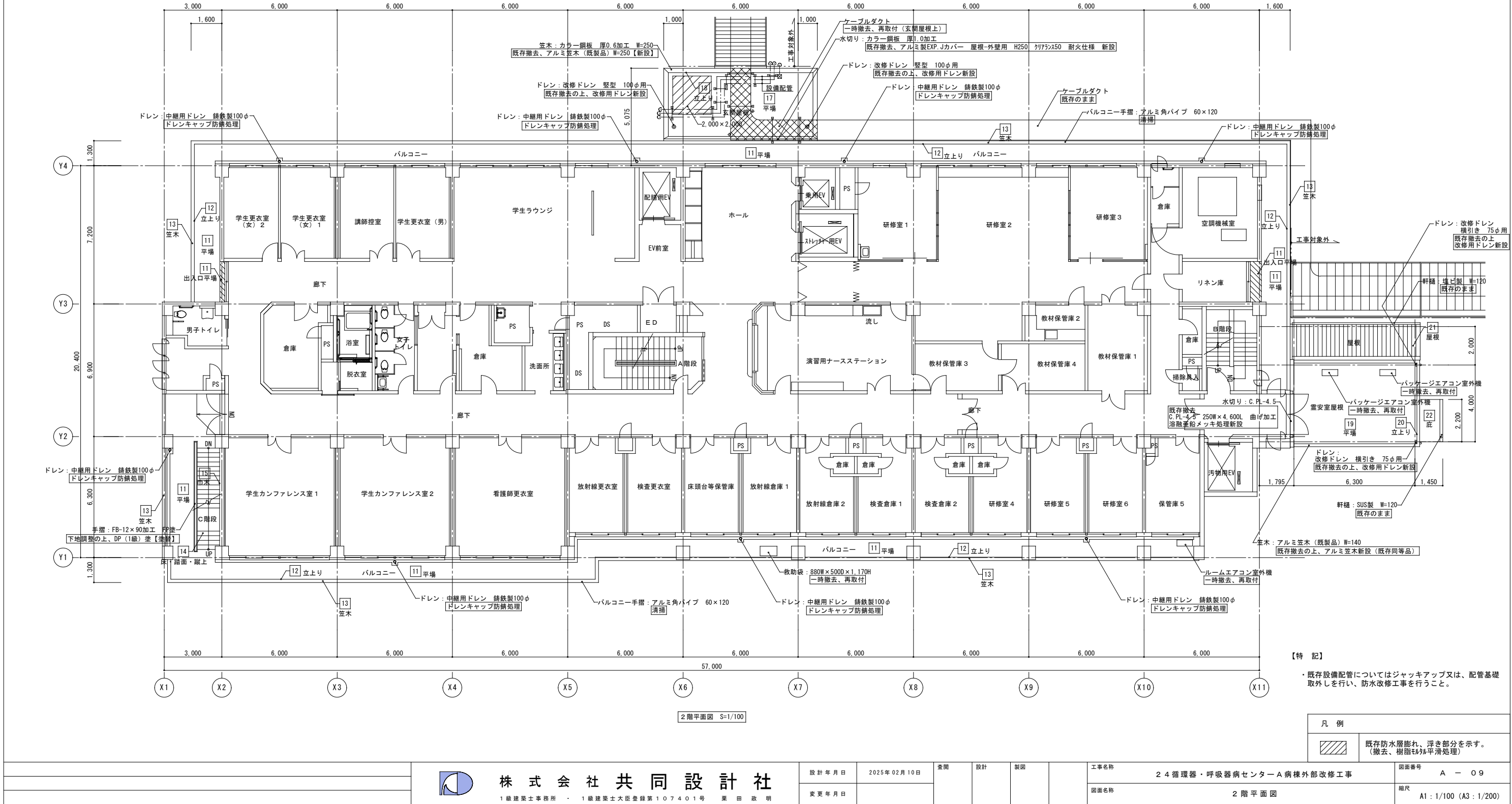
断熱材
種類（ ）厚さ（ mm） 施工箇所（ ・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材

種 類	防火性能	備 考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 並木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製支柱による。 既存		

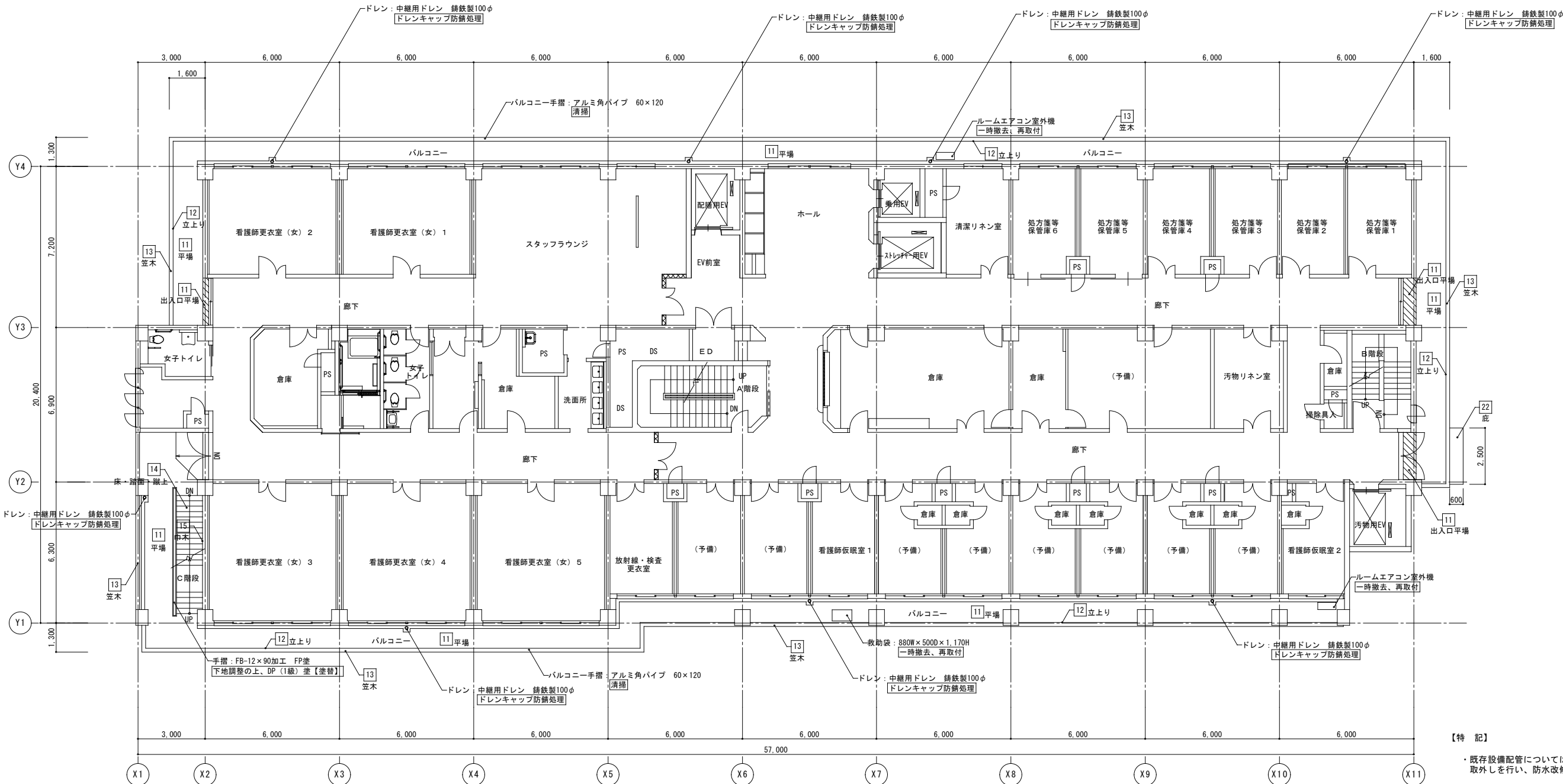
防水改修仕上表			
部 位		改修前	改修後
外部階段	床・路面・蹴上	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上
	巾木	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上
	笠木	モルタル防水金ゴテ仕上の上、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上



防水改修仕上表				
部 位		改修前	改修後	記 号
バルコニー	平場	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上	防水改修 11
	立上り	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 12
	笠木	モルタル刷毛引き下地、複層仕上塗材E吹付	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	塗膜除去 防水改修 13
	床・路面・蹴上	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上	防水改修 14
	巾木	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 15
外部階段	笠木	モルタル金ゴテ仕上の上、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 16
	平場	コンクリート下地、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 17
	立上り	コンクリート下地、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 18
	平場	コンクリート下地、ウレタン塗膜防水（X-1）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 19
	立上り	ALC下地、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 20
霊安室屋根	金属屋根	折板葺き 厚0.8 H=150	下地処理：高圧水洗清掃、下地目あらし 仕上：ウレタン塗膜防水ローラー工法、高耐久高反射保護塗料仕上	防水改修 21
庇	金属庇	亜鉛鋼板葺き	下地処理：高圧水洗清掃、下地目あらし 仕上：ウレタン塗膜防水ローラー工法、高耐久高反射保護塗料仕上	防水改修 22



防水改修仕上表				
部 位		改 修 前	改 修 後	記 号
バルコニー	平場	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上	防水改修 11
	立上り	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 12
	笠木	モルタル刷毛引き下地、複層仕上塗材E吹付	塗膜除去 下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 13
外部階段	床・踏面・蹴上	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上	防水改修 14
	巾木	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 15
	笠木	モルタル金ゴテ仕上の上、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上	防水改修 16
庇	金属庇	亜鉛鋼板葺き	下地処理：高圧水洗清掃、下地目あらし 仕上：ウレタン塗膜防水ローラー工法、高耐久高反射保護塗料仕上	防水改修 22

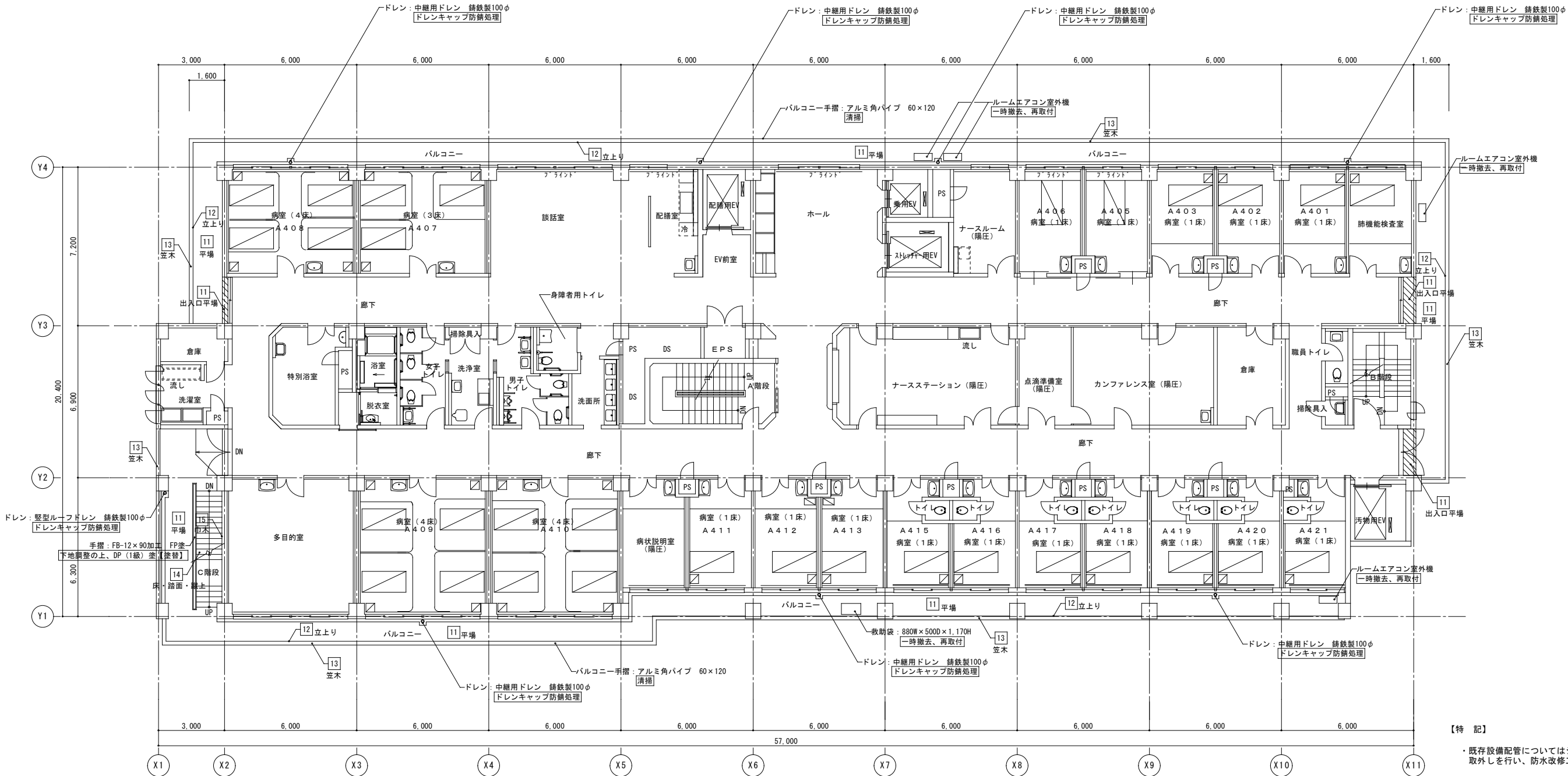


【特 記】

・既存設備配管についてはジャッキアップ又は、配管基礎
取外しを行い、防水改修工事を行うこと。

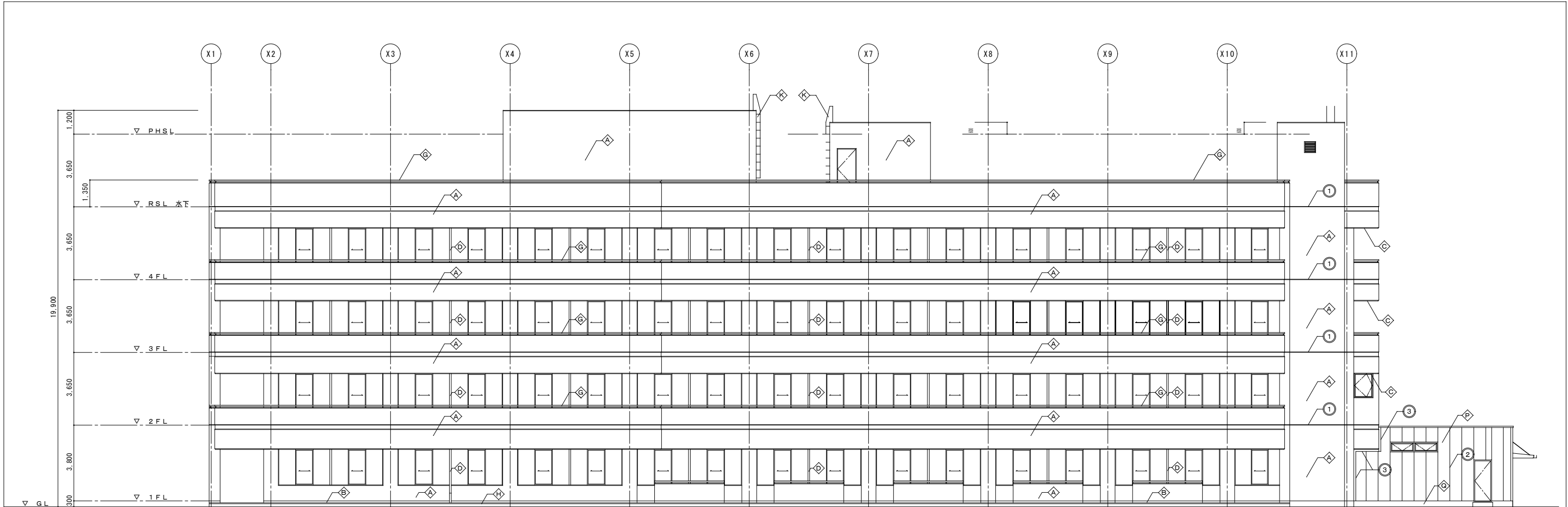
凡 例	
	既存防水層膨れ、浮き部分を示す。 （撤去、樹脂モルタル平滑処理）

防水改修仕上表			
部 位		改 修 前	改 修 後
バルコニー	平場	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上
	立上り	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上
	笠木	モルタル刷毛引き下地、複層仕上塗材E吹付	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上
外部階段	床・路面・蹴上	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑、高耐久保護塗料仕上
	巾木	モルタル防水金ゴテ仕上	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、樹脂モルタル平滑処理 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上
	笠木	モルタル金ゴテ仕上の上、ウレタン塗膜防水（X-2）	下地処理：下地劣化部補修、下地清掃、プライマー塗布 仕上：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）高耐久保護塗料仕上



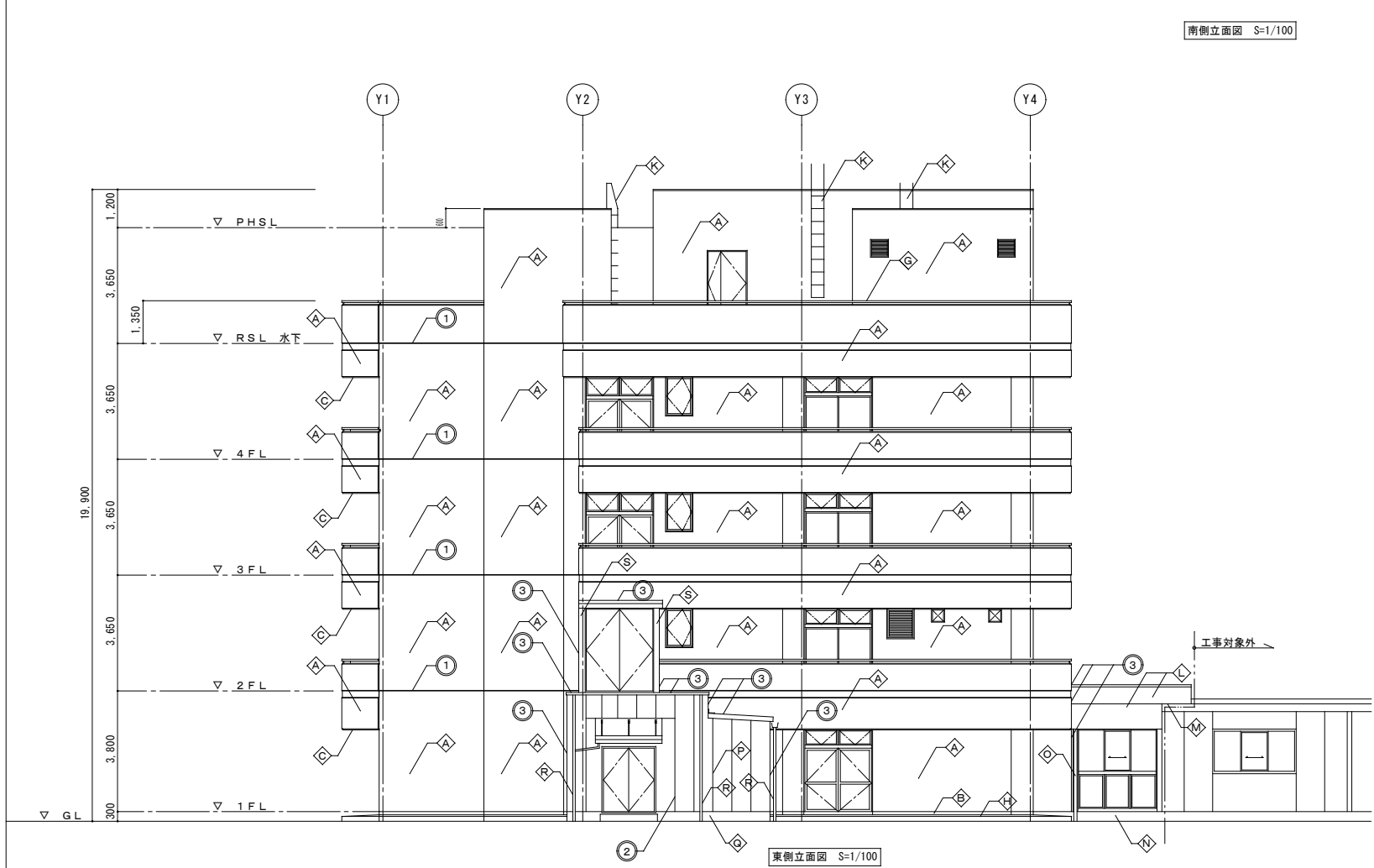
【特 記】
・既存設備配管についてはジャッキアップ又は、配管基礎
取外しを行い、防水改修工事を行うこと。

凡 例	
	既存防水層膨れ、浮き部分を示す。 （撤去、樹脂モルタル平滑処理）



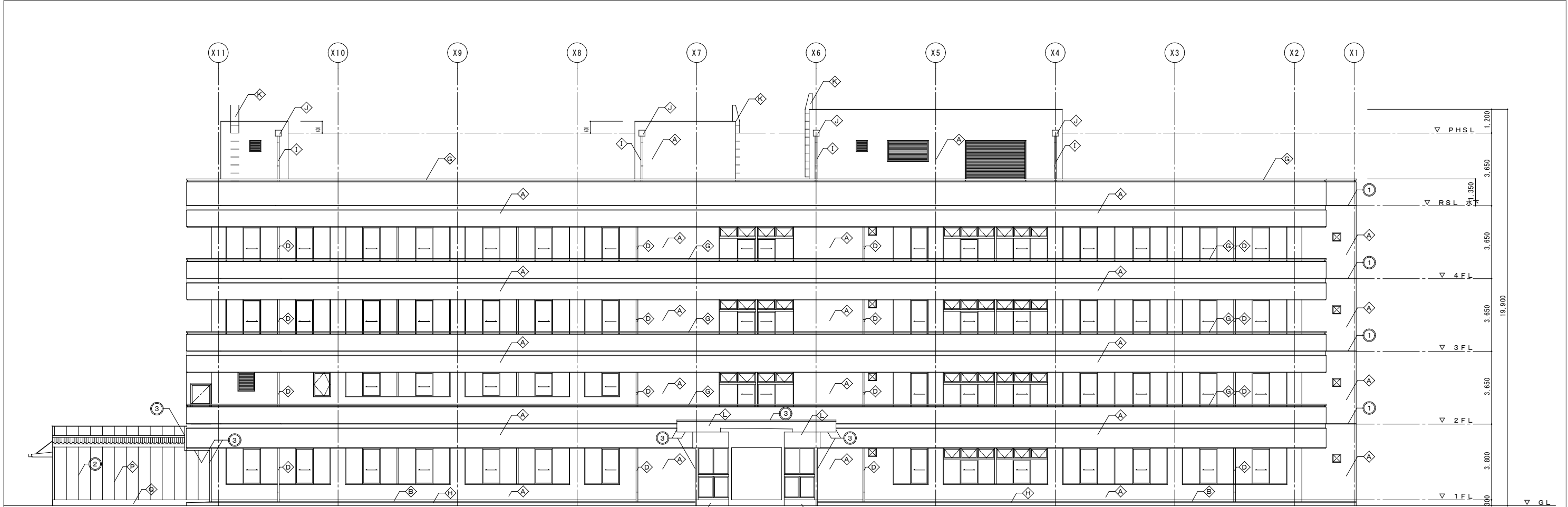
南側立面図 S=1/100

シーリング改修		
部 位	改修内容	記 号
打継目地	既存シーリング撤去、ポリウレタン系（PU-2）20×10 打替	①
ALCパネル間目地	既存シーリング撤去、ポリウレタン系（PU-2）10×10 打替	②
取合い部目地	既存シーリング撤去、ポリウレタン系（PU-2）20×10 打替	③



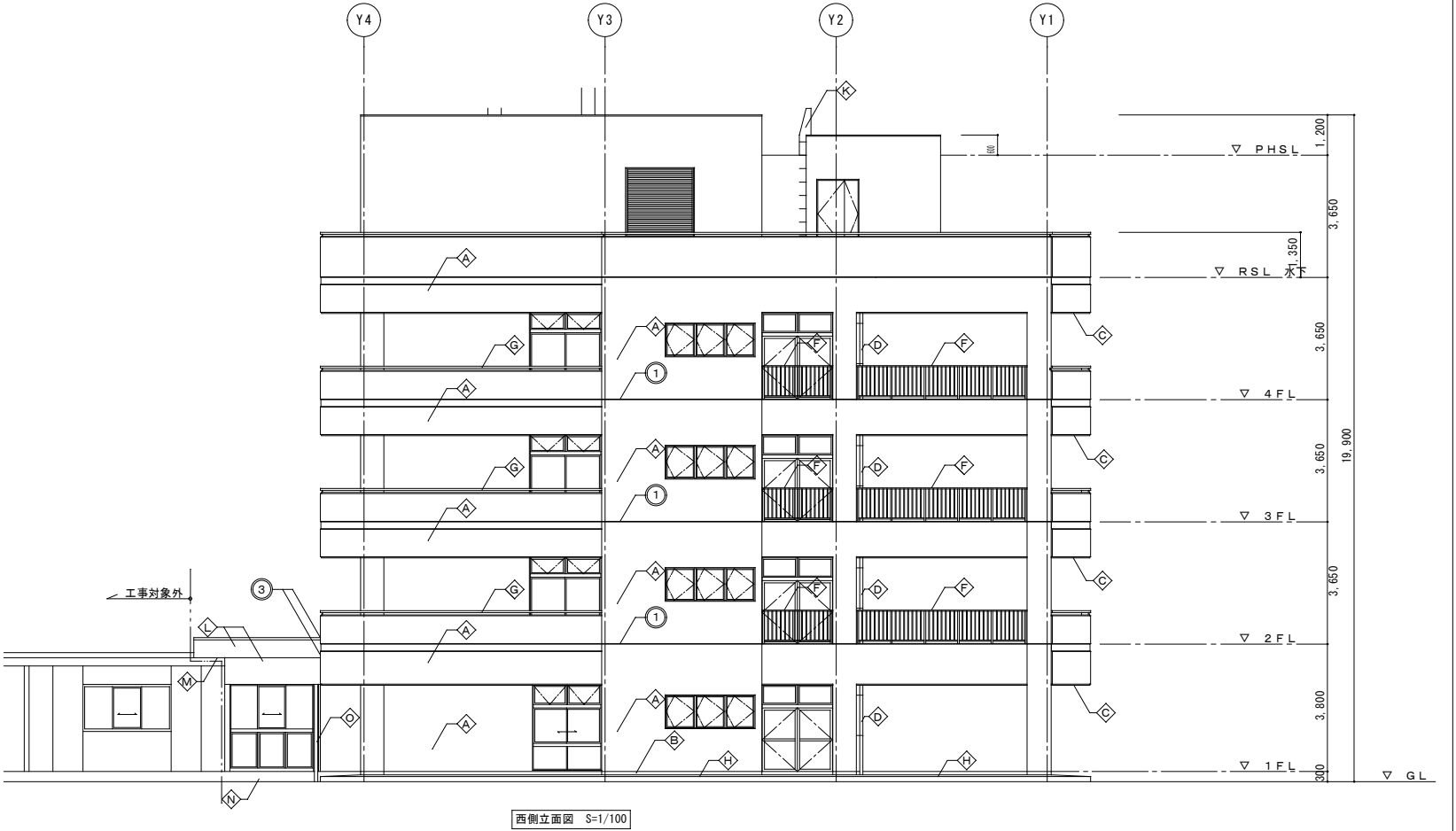
東側立面図 S=1/100

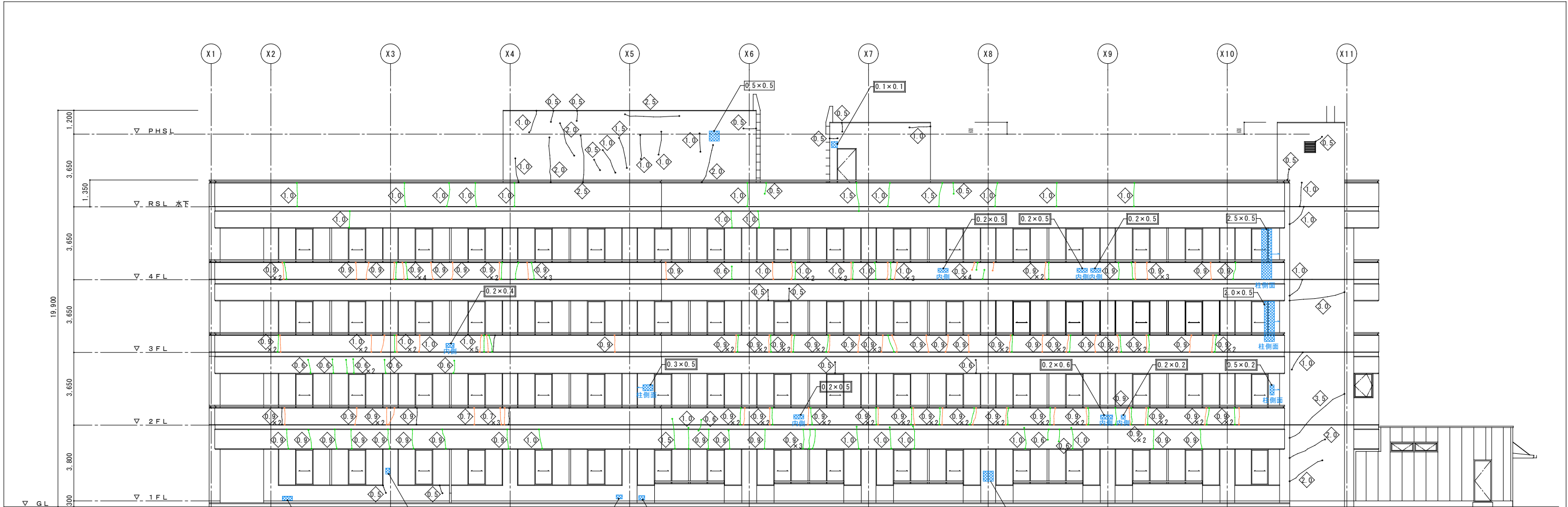
外壁改修その他仕上表			
部 位	改修前	改修後	記 号
一般部	外壁・柱	モルタル刷毛引き下地、エポキシ系吹付タイルの上 仕上塗材除去	下地処理：高圧水洗清掃（30MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付（上塗材：無機系塗料） 塗替
	機器搬出入口 両脇軸壁	ラスシート、モルタル刷毛引き下地、複層仕上塗材E吹付 石綿仕上塗材除去	下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付（上塗材：無機系塗料） 塗替
	外巾木	モルタル刷毛引き仕上	下地処理：高圧水洗清掃（30MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルシリコン系塗料 塗替
	バルコニー天井	LGSG下地、フレキシブルボード 厚4.0 EP塗<アスベスト含有> 仕上材撤去	ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼 反応硬化形低VOC水性塗材 新設
	縦樋	配管用鋼管（SGP）100φ SOP塗	下地処理：下地調整（RA種）、錆止め塗装 仕上：DP塗（1級） 塗替
	外部階段裏	モルタル刷毛引き下地、エポキシ系吹付タイルの上 複層仕上塗材E吹付 仕上塗材除去	下地処理：高圧水洗清掃（30MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルシリコン系塗料 塗替
	外部階段 手摺、格子	鉄骨部材 SOP塗	下地処理：下地調整（RA種）、錆止め塗装 仕上：DP塗（1級） 塗替
	外部階段廻り 手摺	アルミ格子手摺（既製品）H=1,000	既存のまま
	バルコニー 屋上手摺	アルミ製角パイプ 120×60	既存のまま 清掃
	犬走り	モルタル金ゴテ仕上	既存のまま
塔屋	外壁	モルタル刷毛引き下地、エポキシ系吹付タイルの上 仕上塗材除去	下地処理：高圧水洗清掃（30MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付（上塗材：無機系塗料） 塗替
	縦樋	配管用鋼管（SGP）100φ SOP塗	下地処理：下地調整（RA種）、錆止め塗装 仕上：DP塗（1級） 塗替
	飾り樹	ステンレス製 300×300×250	既存のまま
	タラップ	丸鋼22φ SOP塗	下地処理：下地調整（RA種）、錆止め塗装 仕上：DP塗（1級） 塗替
支間	外壁	硬質木片セメント板 厚12 アクリルリシン吹付	下地処理：下地清掃 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付（上塗材：無機系塗料） 塗替
	軒裏	硬質木片セメント板 厚12 アクリルリシン吹付	下地処理：下地清掃 仕上：反応硬化形低VOC水性塗材 塗替
	外巾木	コンクリート打ち放し補修	下地処理：高圧水洗清掃（30MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルシリコン系塗料 塗替
	縦樋	配管用鋼管（SGP）100φ SOP塗	下地処理：下地調整（RA種）、錆止め塗装 仕上：DP塗（1級） 塗替
窓安全増築部	外壁	ALC板 厚100 複層仕上塗材RE吹付	下地処理：高圧水洗清掃（15MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-1 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付（上塗材：無機系塗料） 塗替
	外巾木	コンクリート打ち放し補修	下地処理：高圧水洗清掃（30MPa程度）、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルシリコン系塗料 塗替
	縦樋	硬質塩ビ管（VP）75φ 撤去	硬質塩ビ管（VP）75φ（SUS製支持金物共） 新設



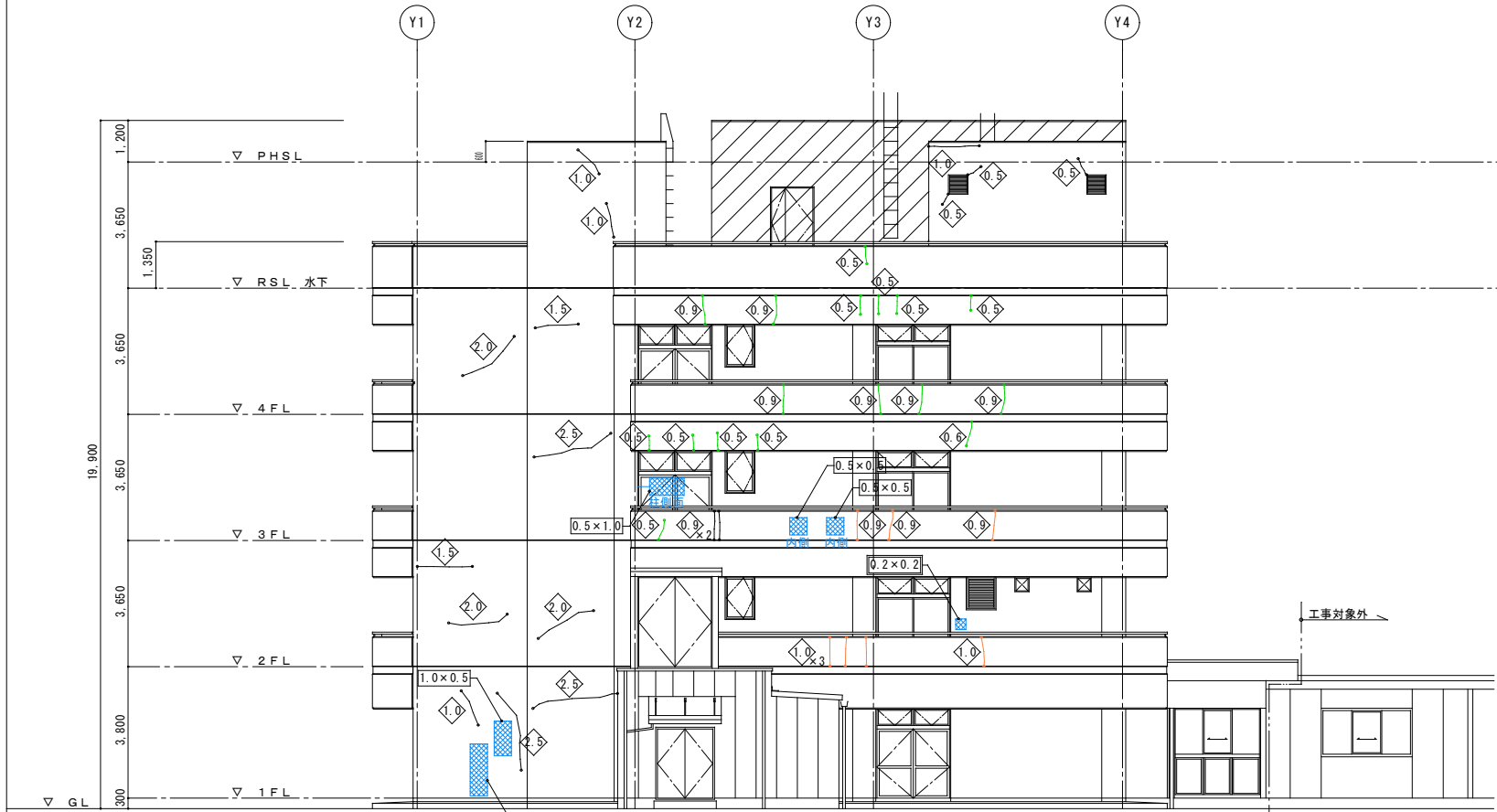
シーリング改修		
部 位	改修内容	記 号
打継目地	既存シーリング撤去、ポリウレタン系 (PU-2) 20×10 打替	①
ALCパネル間目地	既存シーリング撤去、ポリウレタン系 (PU-2) 10×10 打替	②
取合い部目地	既存シーリング撤去、ポリウレタン系 (PU-2) 20×10 打替	③

外壁改修その他仕上表				
部 位	改修前	改修後	記 号	
一般部	外壁・柱	モルタル刷毛引き下地、エポキシ系吹付タイルの上 複層仕上塗材E吹付 仕上塗材除去	下地処理：高圧水洗清掃 (30MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付 (上塗材：無機系塗料)	塗替 A
	機器搬出入口 両脇袖壁	ラスシート、モルタル刷毛引き下地、複層仕上塗材E吹付 ≪下地調整材アスベスト含有≫ 石綿仕上塗材除去	下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付 (上塗材：無機系塗料)	塗替 S
	外巾木	モルタル刷毛引き仕上	下地処理：高圧水洗清掃 (30MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルシリコン系塗料	塗替 B
	バルコニー天井	LGS下地、フレキシブルボード 厚4.0 EP塗≪アスベスト含有≫仕上材撤去	ケイ酸カルシウム板 厚6 目隠し貼 反応硬化形低VOC水性塗材	新設 C
	縦樋	配管用鋼管 (SGP) 100φ SOP塗	下地処理：下地調整 (RA種)、錆止め塗装 仕上：DP塗 (1級)	塗替 D
	外部階段裏	モルタル刷毛引き下地、エポキシ系吹付タイルの上 複層仕上塗材E吹付 仕上塗材除去	下地処理：高圧水洗清掃 (30MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルシリコン系塗料	塗替
	外部階段 手摺、格子	鉄骨部材 SOP塗	下地処理：下地調整 (RA種)、錆止め塗装 仕上：DP塗 (1級)	塗替
	外部階段廻り 手摺	アルミ格子手摺 (既製品) H=1,000	既存のまま	F
	バルコニー 屋上手摺	アルミ製角パイプ 120×60	既存のまま	清掃 G
	犬走り	モルタル金ゴテ仕上	既存のまま	H
塔屋	外壁	モルタル刷毛引き下地、エポキシ系吹付タイルの上 複層仕上塗材E吹付 仕上塗材除去	下地処理：高圧水洗清掃 (30MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付 (上塗材：無機系塗料)	塗替 A
	縦樋	配管用鋼管 (SGP) 100φ SOP塗	下地処理：下地調整 (RA種)、錆止め塗装 仕上：DP塗 (1級)	塗替 I
	飾り樹	ステンレス製 300×300×250	既存のまま	J
	タラップ	丸鋼22φ SOP塗	下地処理：下地調整 (RA種)、錆止め塗装 仕上：DP塗 (1級)	塗替 K
玄関	外壁	硬質木片セメント板 厚12 アクリルリシン吹付	下地処理：下地清掃 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付 (上塗材：無機系塗料)	塗替 L
	軒裏	硬質木片セメント板 厚12 アクリルリシン吹付	下地処理：下地清掃 仕上：反応硬化形低VOC水性塗材	塗替 M
	外巾木	コンクリート打ち差し補修	下地処理：高圧水洗清掃 (30MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルリシン系塗料	塗替 N
	縦樋	配管用鋼管 (SGP) 100φ SOP塗	下地処理：下地調整 (RA種)、錆止め塗装 仕上：DP塗 (1級)	塗替 O
書斎増築部	外壁	ALC版 厚100 複層仕上塗材RE吹付	下地処理：高圧水洗清掃 (15MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-1 仕上：防水形複層仕上塗材E吹付 (上塗材：無機系塗料)	塗替 P
	外巾木	コンクリート打ち差し補修	下地処理：高圧水洗清掃 (30MPa程度)、下地劣化部補修、下地調整材C-2 仕上：水性アクリルリシン系塗料	塗替 Q
	縦樋	硬質塩ビ管 (VP) 75φ 撤去	硬質塩ビ管 (VP) 75φ (SUS製支持金物共)	新設 R

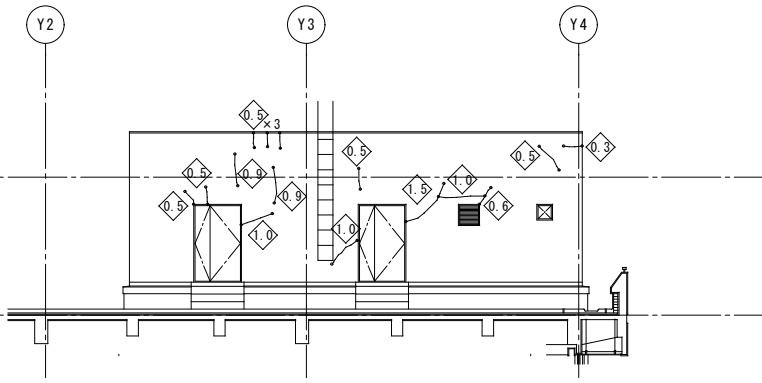




南側立面図 S=1/100

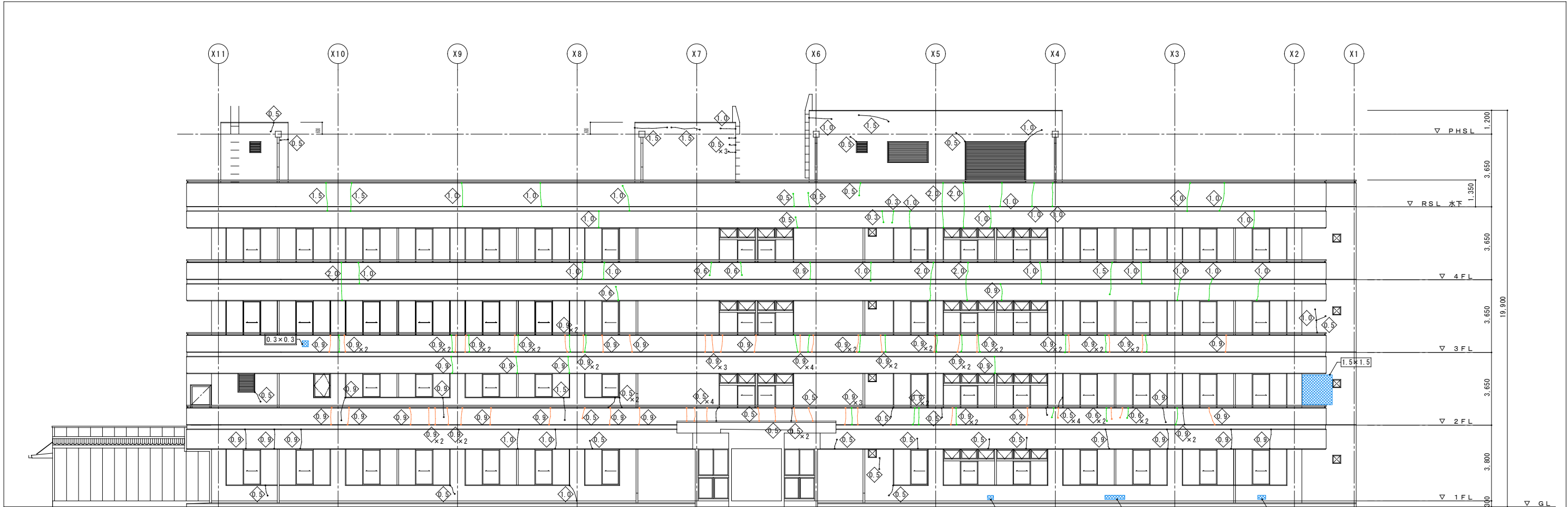


東側立面図 S=1/100

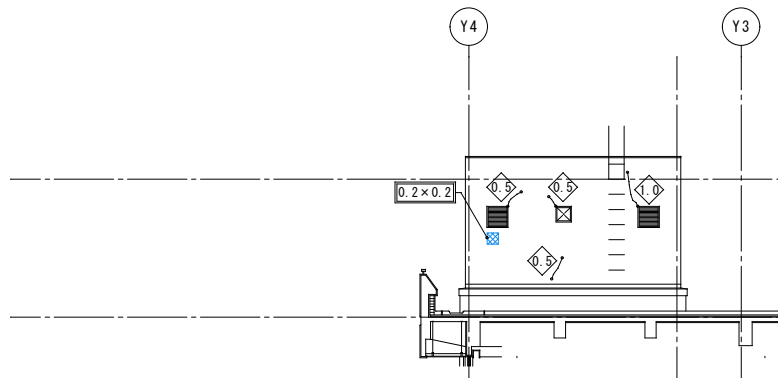


空調機械室東面 S=1/100

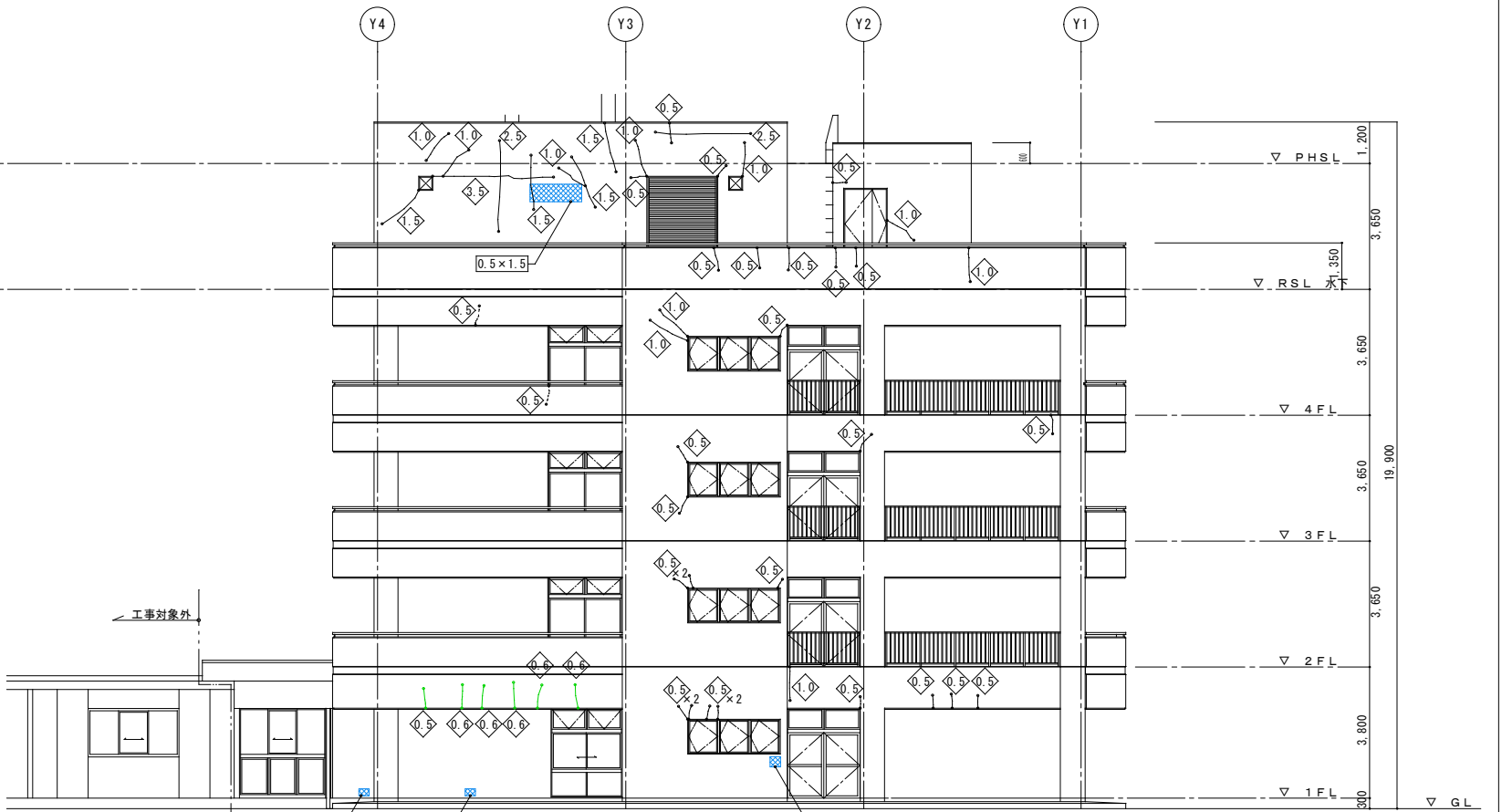
外壁劣化数量表				註1：浮き部分の設計数量は、補修対象面積÷調査面積×調査数量×割増率（1.4）							
記号		劣化内容	補修内容	各面数量				調査数量合計	割増率	設計数量	単位
				南面	東面	北面	西面				
一般部											
ひび割れ-外側		ひび割れ部分（幅0.2mm以上） （数値はひび割れ長さ（m））	リカットシーリング材充填	191.8	53.2	141.1	45.0	431.1	1.4	603.54	m
ひび割れ-内側											
	0.1×0.1	モルタル浮き部分（0.25㎡未満）	注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法（9本/㎡）	0.68	0.04	0.43	0.17	1.32	註1	4.09	㎡
	1.0×1.0	モルタル浮き部分（0.25㎡以上）	注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法（9本・9箇所/㎡）	3.25	2.29	2.25	0	7.79	註1	24.15	㎡



北側立面図 S=1/100

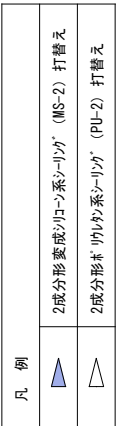


共用EV機室西面 S=1/100

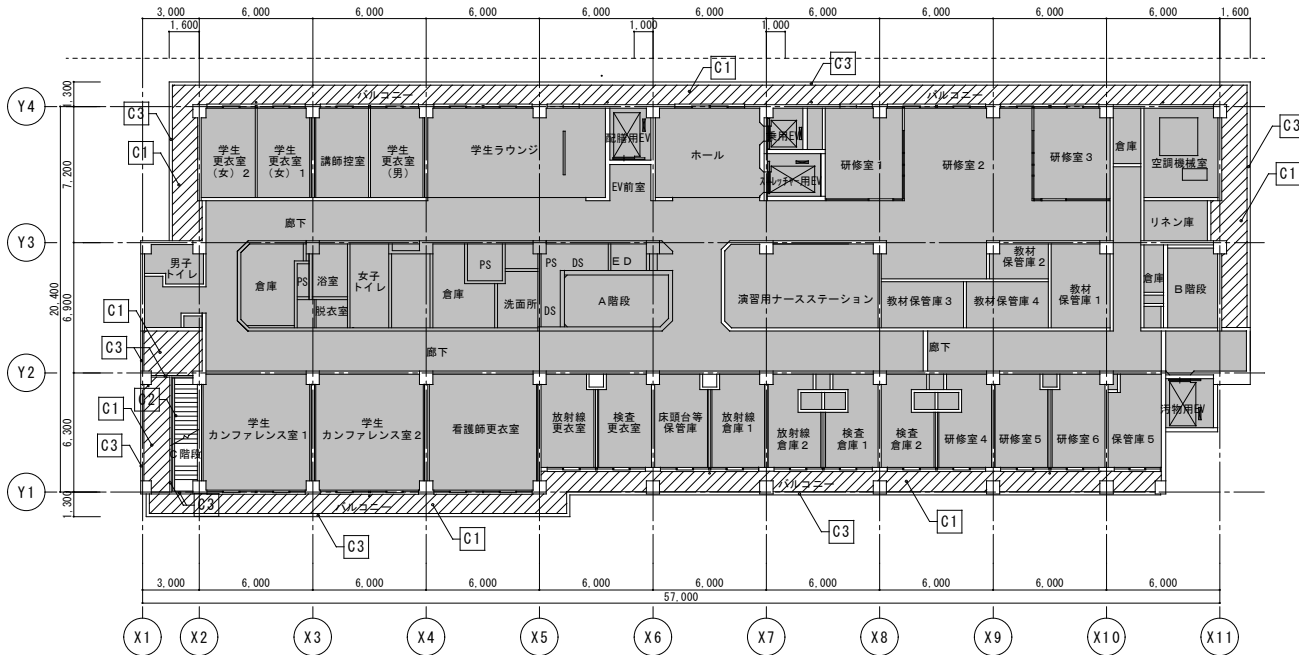


西側立面図 S=1/100

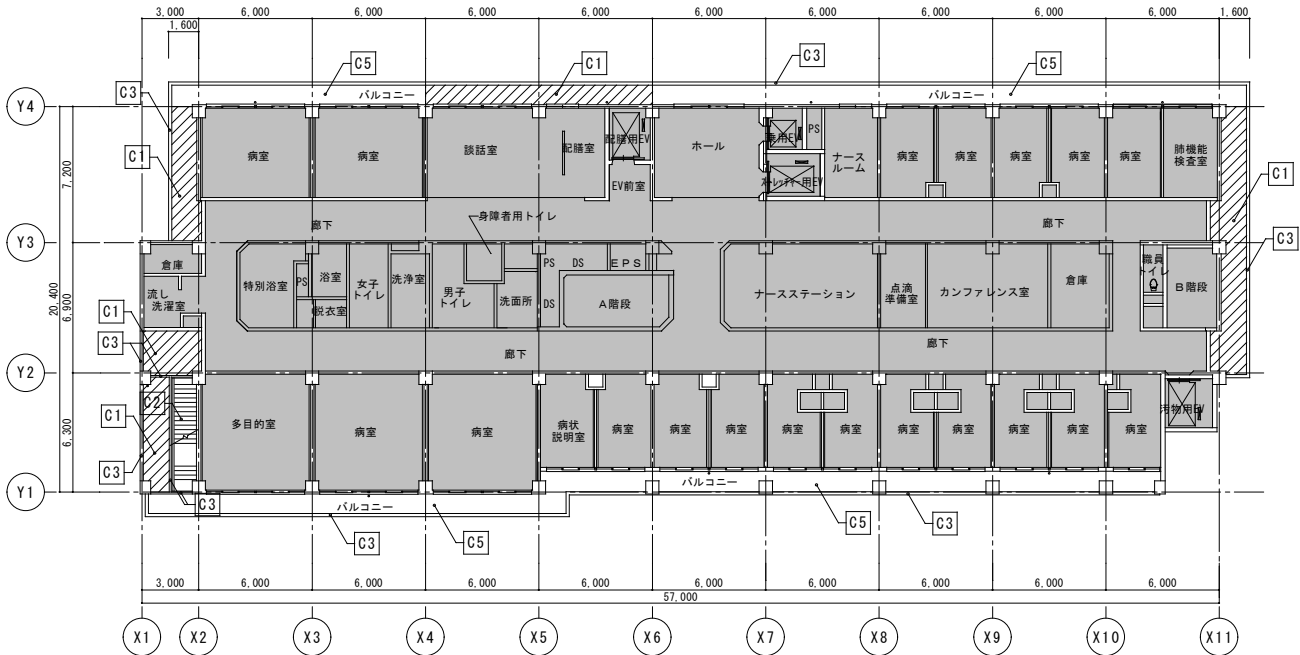
外壁劣化数量表			註1：浮き部分の設計数量は、補修対象面積÷調査面積×調査数量×割増率（1.4）							
記号	劣化内容	補修内容	各面数量				調査数量合計	割増率	設計数量	単位
			南面	東面	北面	西面				
一般部 ハズレ-外側 ハズレ-内側	 ひび割れ部分（幅0.2mm以上） （数値はひび割れ長さ（m））	Uカットシーリング材充填	191.8	53.2	141.1	45.0	431.1	1.4	603.54	m
	 0.1×0.1	モルタル浮き部分（0.25㎡未満） 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法（9本/㎡）	0.68	0.04	0.43	0.17	1.32	註1	4.09	㎡
	 1.0×1.0	モルタル浮き部分（0.25㎡以上） 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法（9本・9箇所/㎡）	3.25	2.29	2.25	0	7.79	註1	24.15	㎡



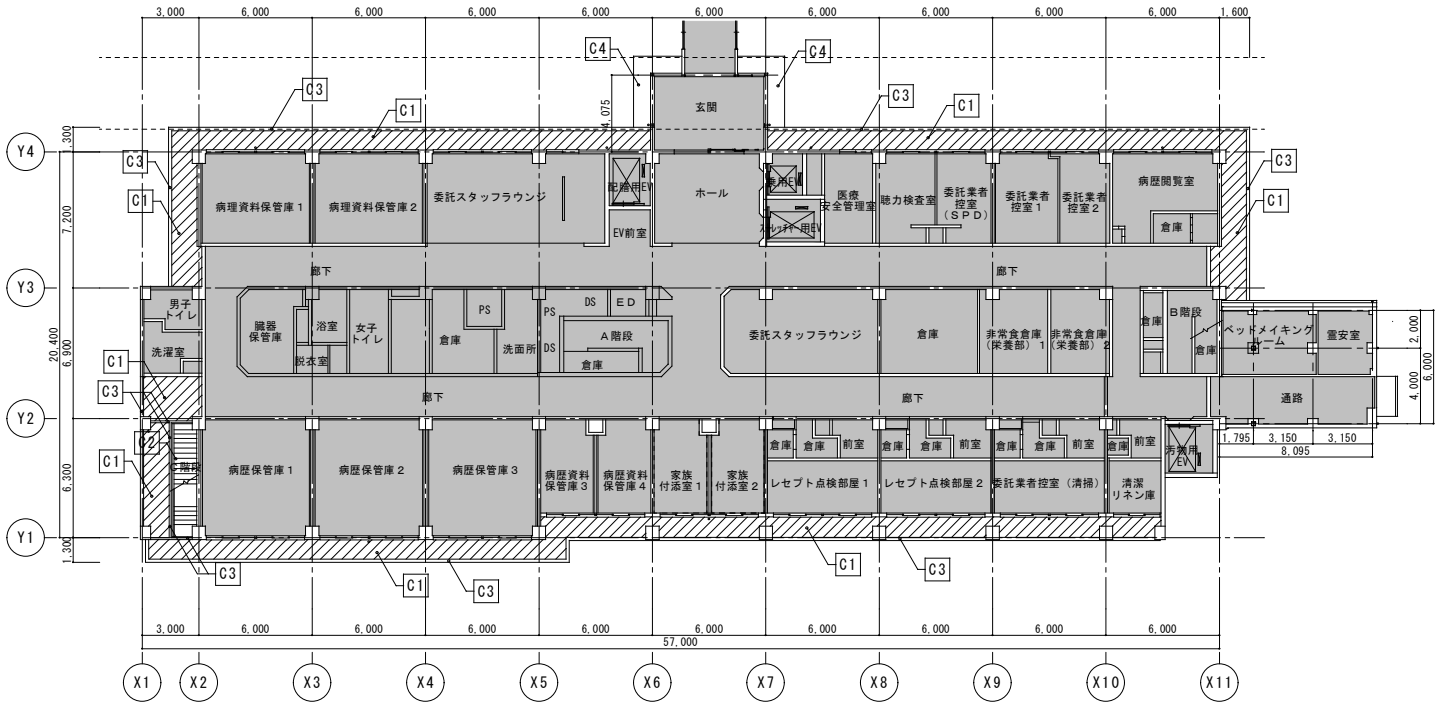
天井面仕上表					
記号		改修前		改修後	
C1	LGS下地、フレキシブルボード 厚4.0 EP塗《アスベスト含有》		仕上材撤去	ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼 反応硬化形低VOC水性塗材	新設
C2	コンクリート打ち放し補修、複層仕上塗材E吹付			下地調整の上、水性アクリルシリコン系塗料	塗替
C3	モルタル刷毛引き下地、複層仕上塗材E吹付			下地調整の上、防水形複層仕上塗材E吹付	塗替
C4	硬質木片セメント板 厚12 アクリルリシン吹付			下地調整の上、反応硬化形低VOC水性塗材	塗替
C5	LGS下地、ケイ酸カルシウム板 EP塗			下地調整の上、反応硬化形低VOC水性塗材	塗替
凡 例					
改修範囲外を示す。 天井仕上材撤去範囲を示す。					



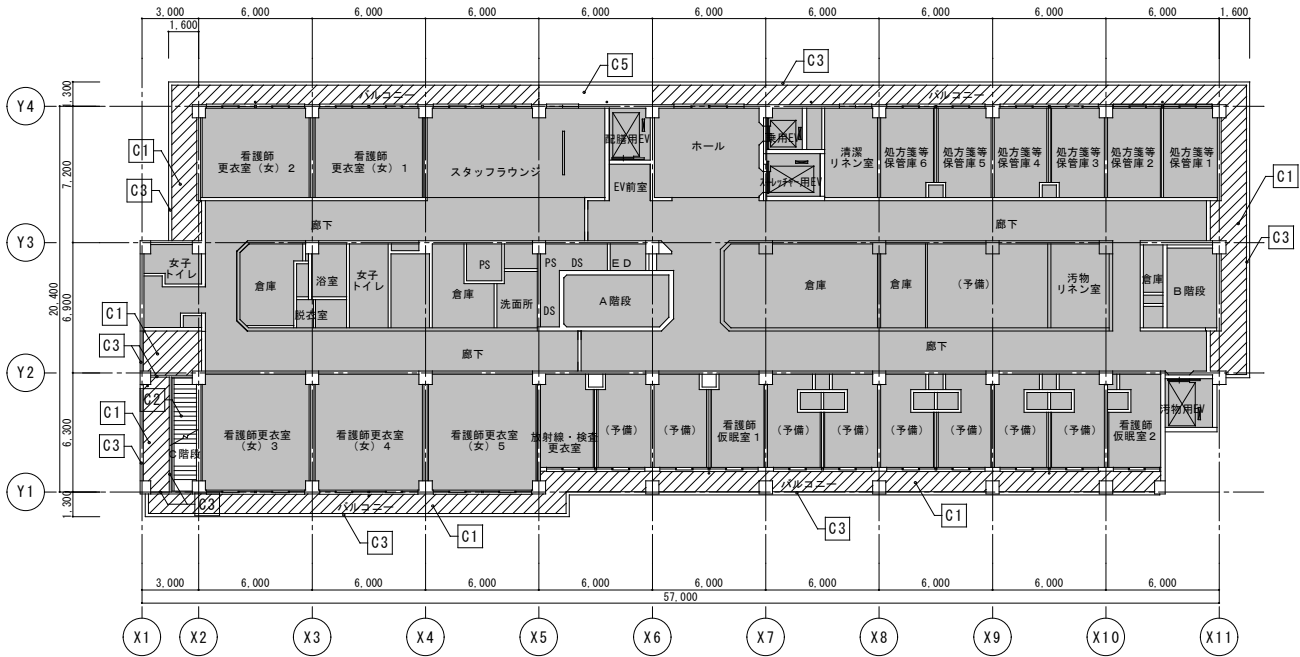
2階天井伏図 S=1/200



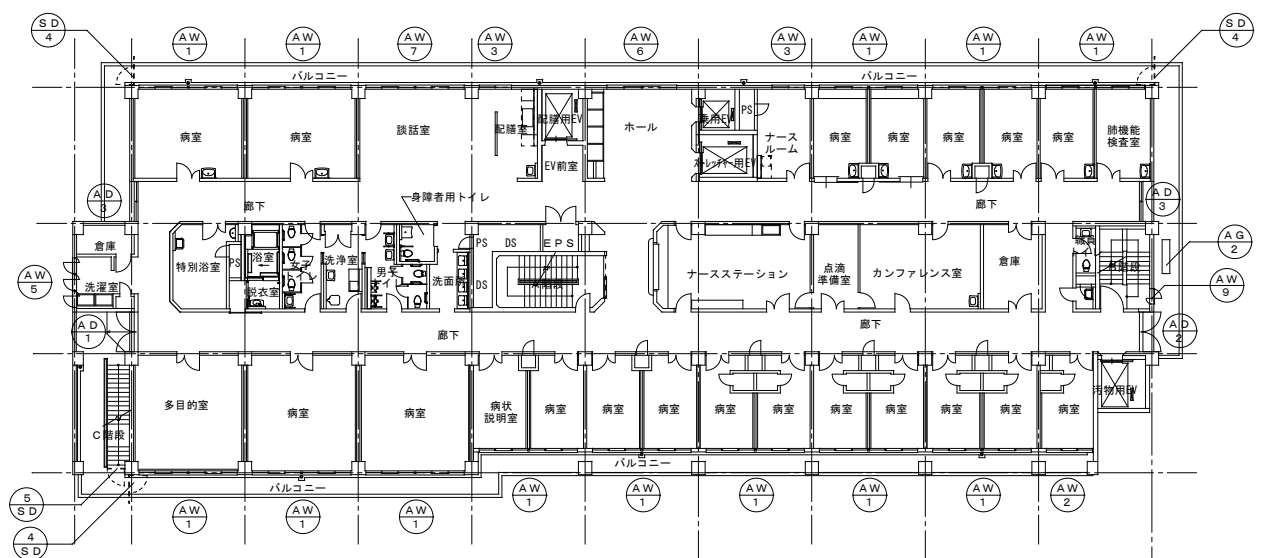
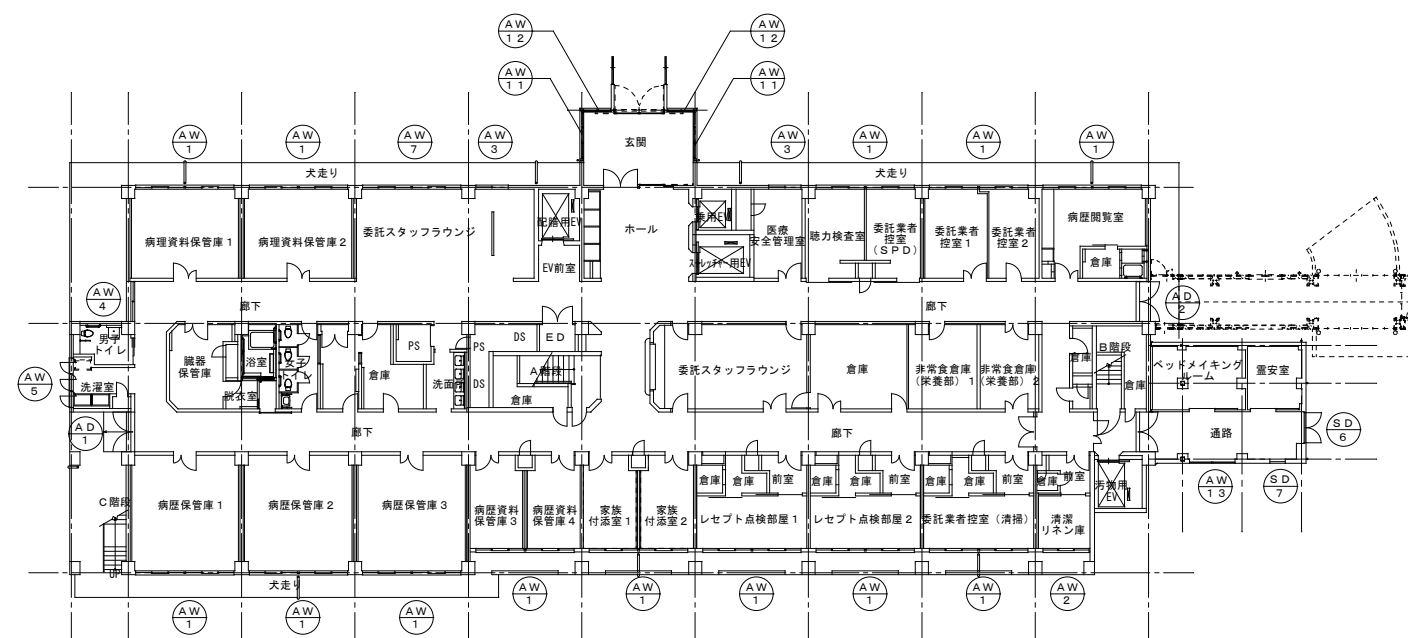
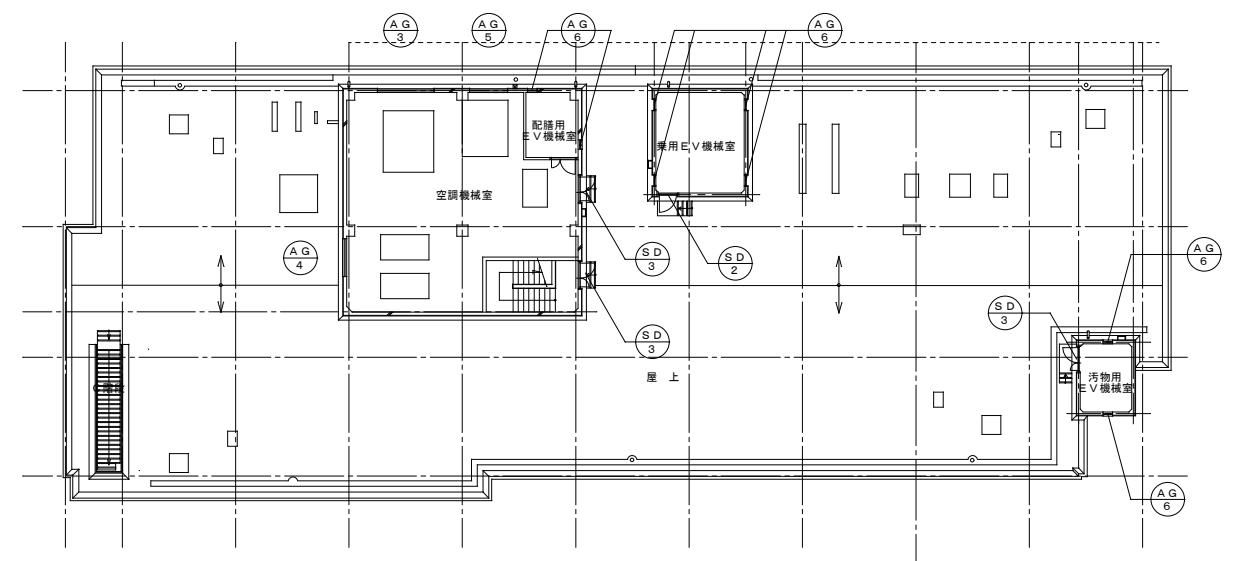
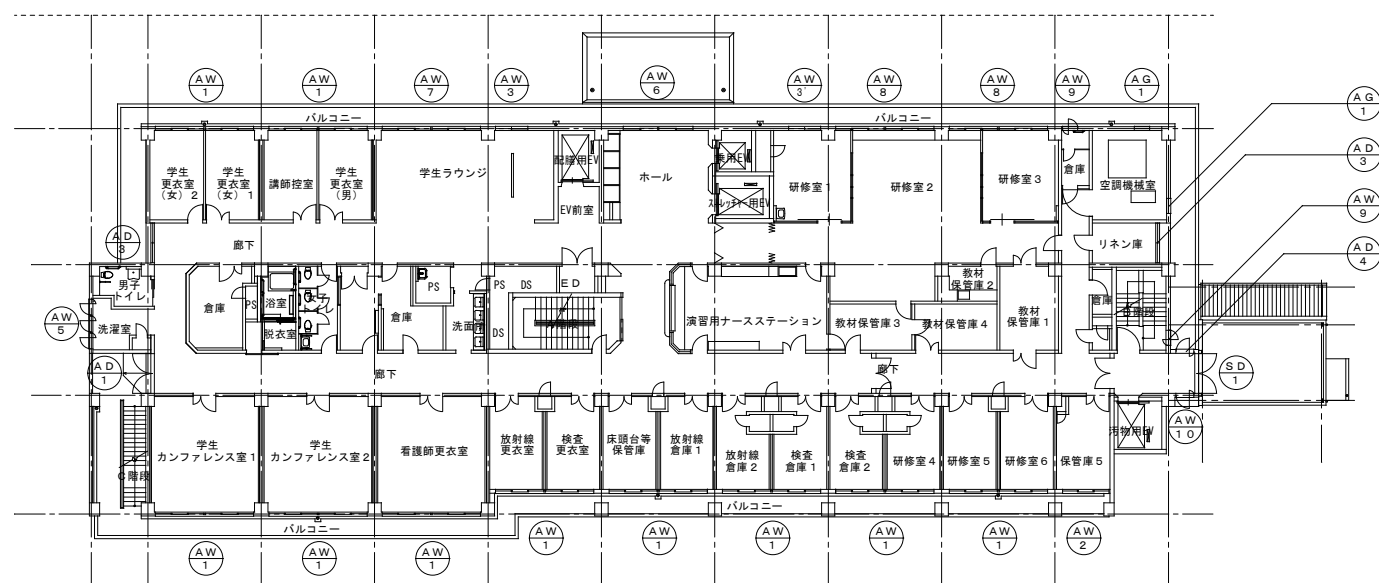
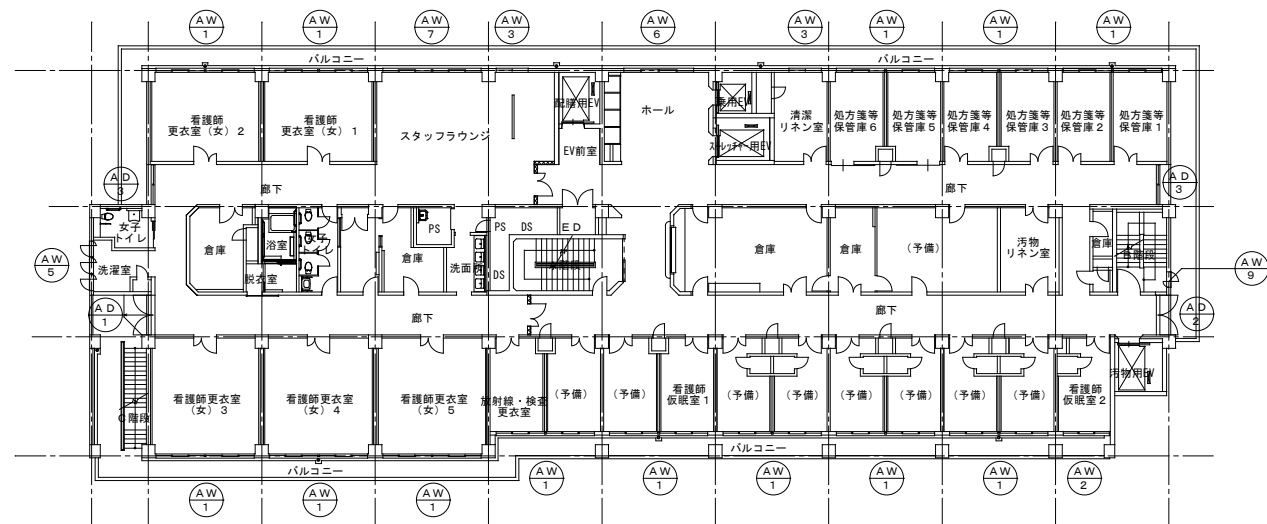
4階天井伏図 S=1/200

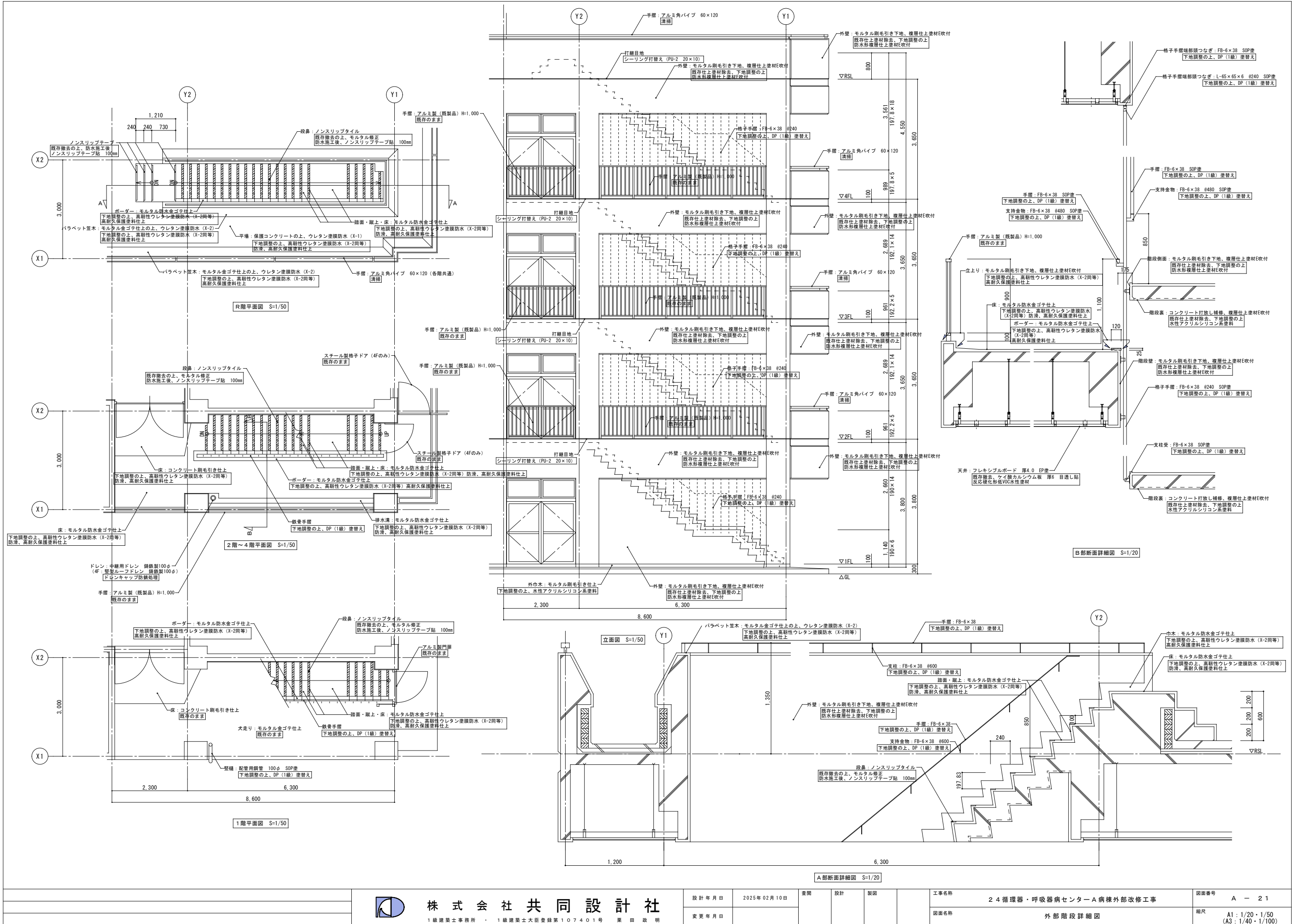


1階天井伏図 S=1/200



3階天井伏図 S=1/200





株式会社 共同設計社

1級建築士事務所 ・ 1級建築士大臣登録第107401号 栗田 政明

設計年月日 2025年02月10日

変更年月日

案図

設計

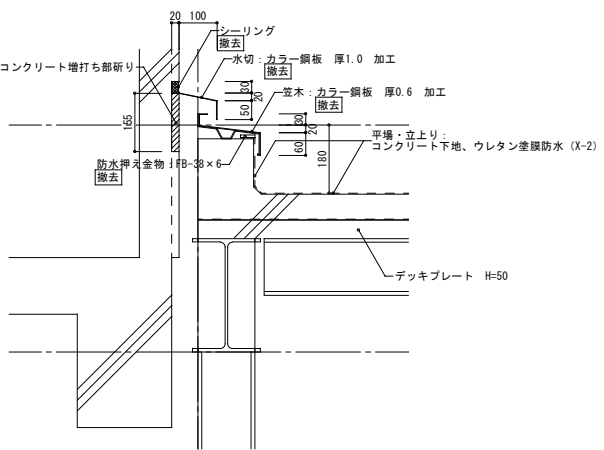
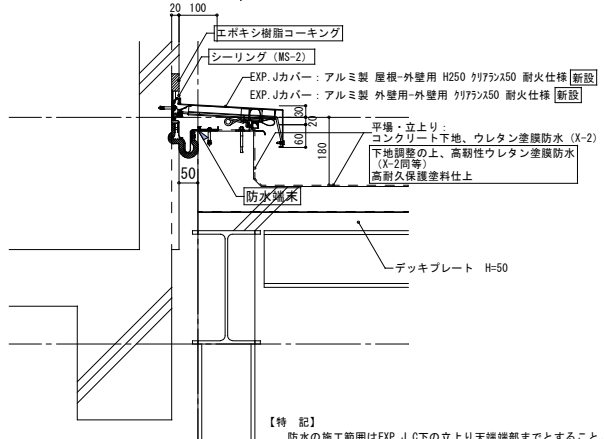
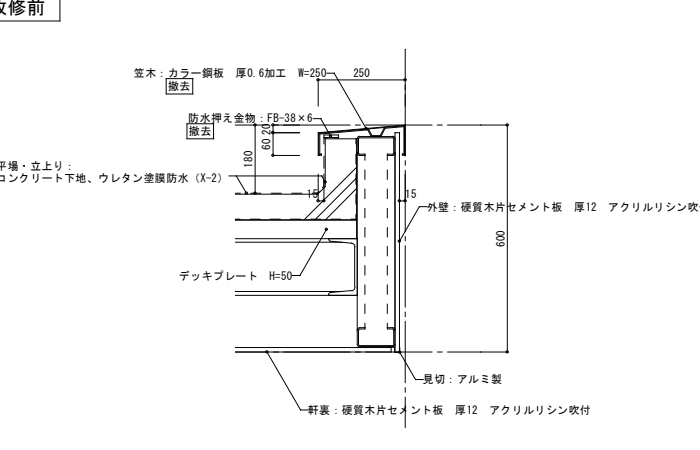
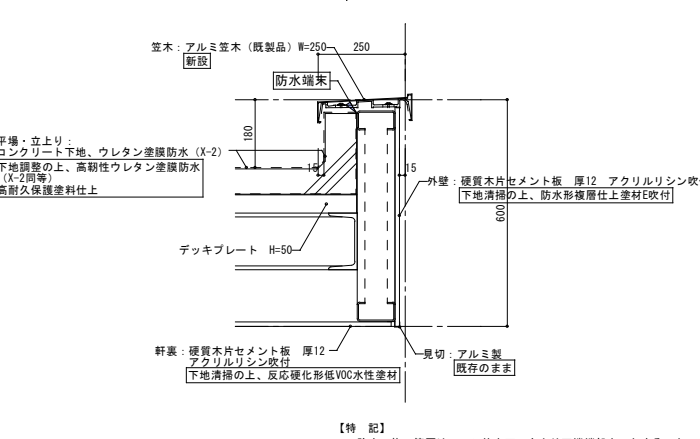
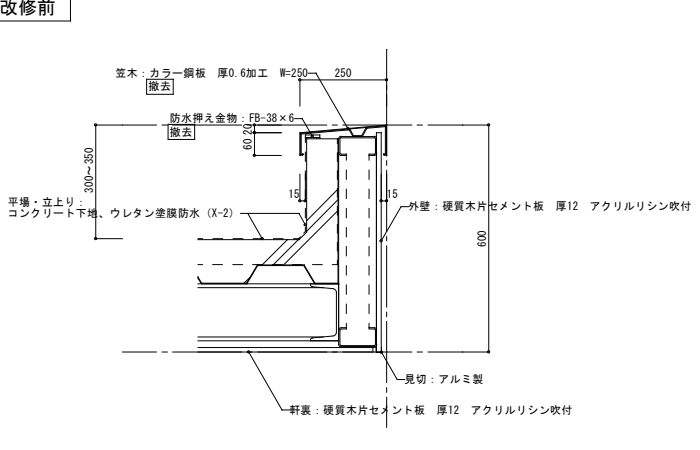
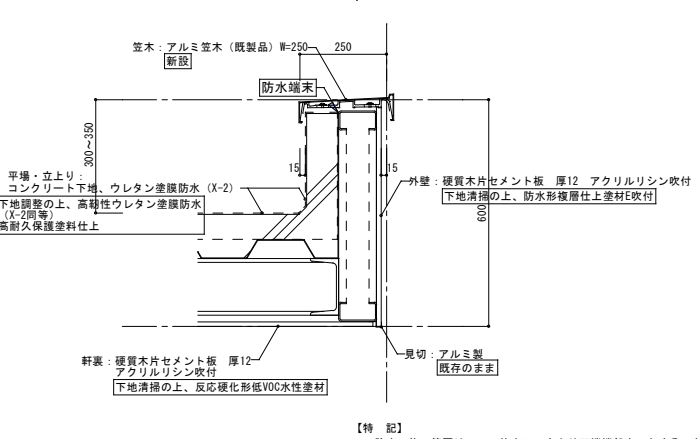
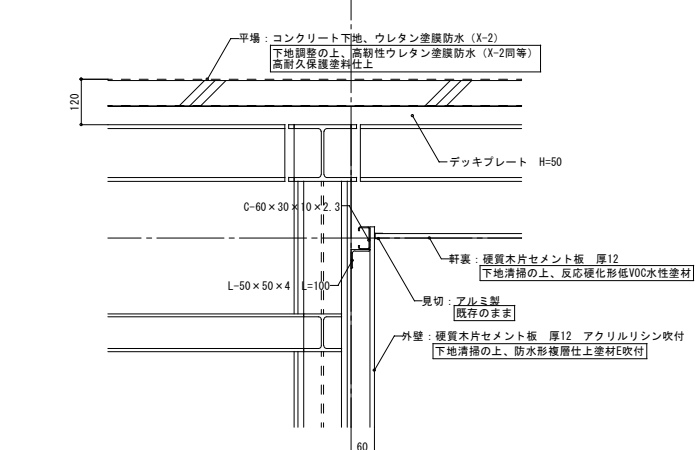
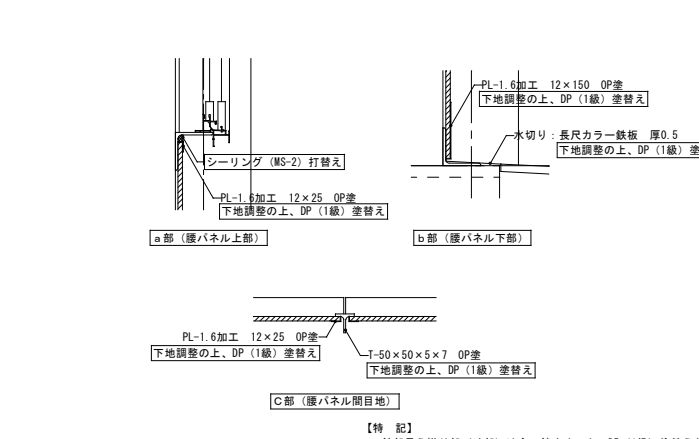
製図

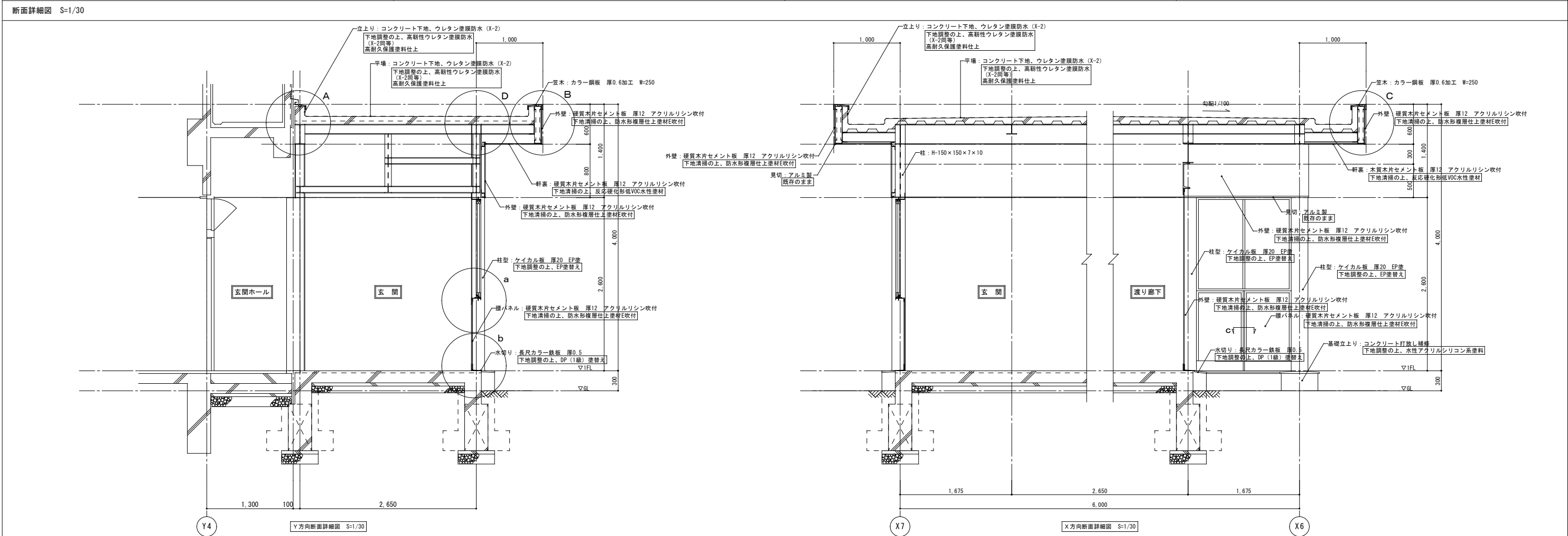
工事名称 24循環器・呼吸器病センターA病棟外部改修工事

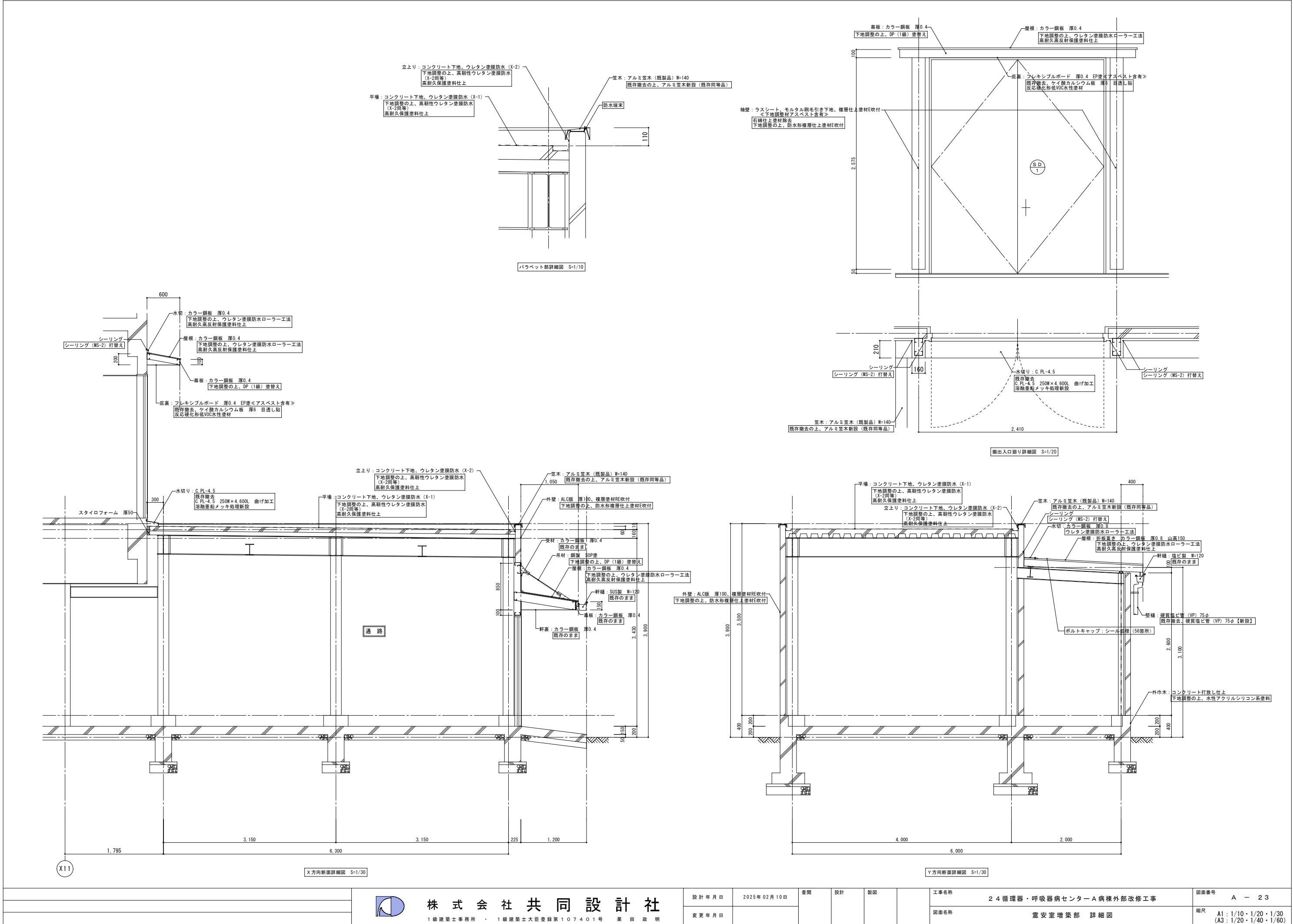
図面名称 外部階段詳細図

図面番号 A - 21

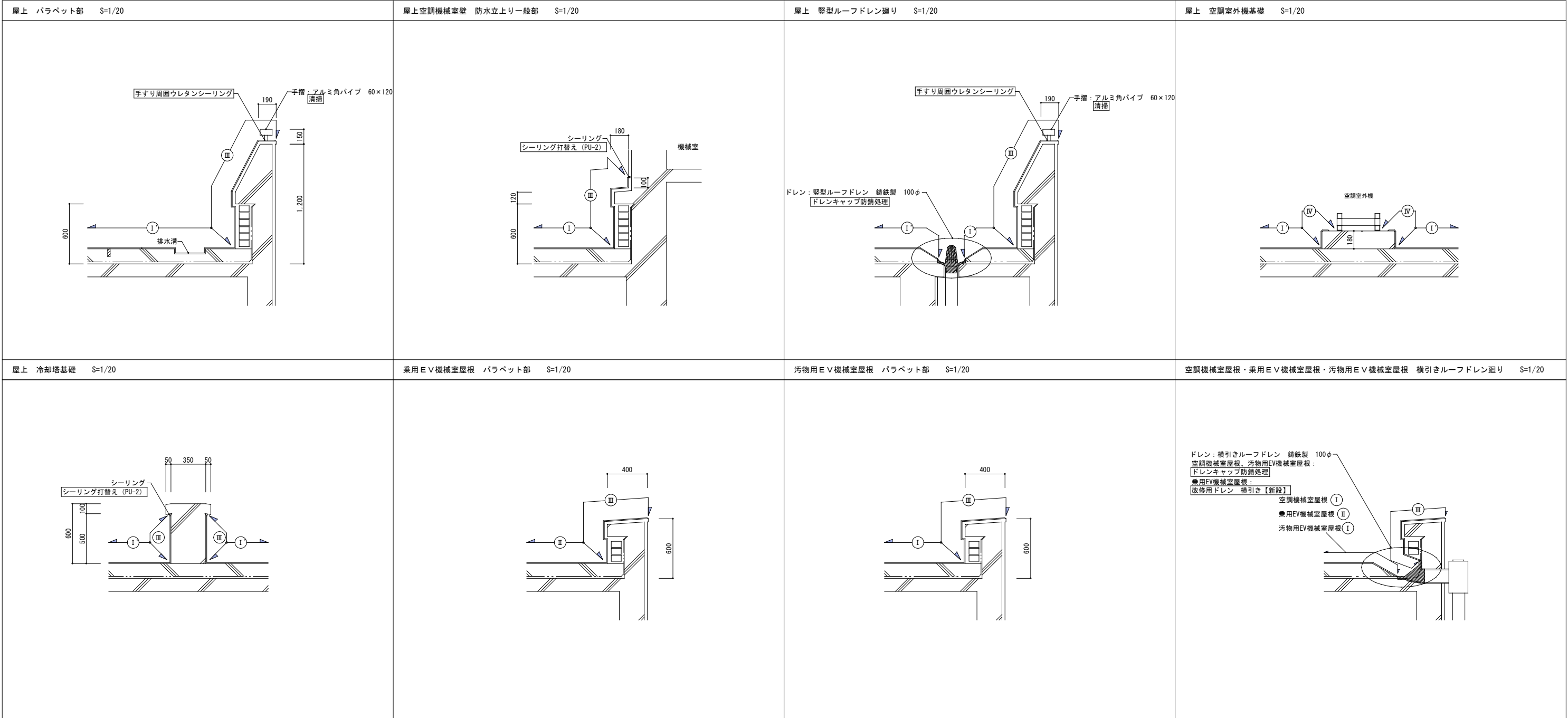
縮尺 A1: 1/20・1/50 (A3: 1/40・1/100)

A 部詳細図 S=1/10 改修前  改修後  【特 記】 防水の施工範囲はEXP. J. C下の立上り天端部までとすること。 B 部詳細図 S=1/10 改修前  改修後  【特 記】 防水の施工範囲はアルミ笠木下の立上り天端部までとすること。 C 部詳細図 S=1/10 改修前  改修後  【特 記】 防水の施工範囲はアルミ笠木下の立上り天端部までとすること。 D 部詳細図 S=1/10  腰パネル鉄骨見切詳細図 S=1/10  【特 記】 鉄部見え掛り部（外部）は全て錆止めの上、DP（1級）塗替えとする。
--



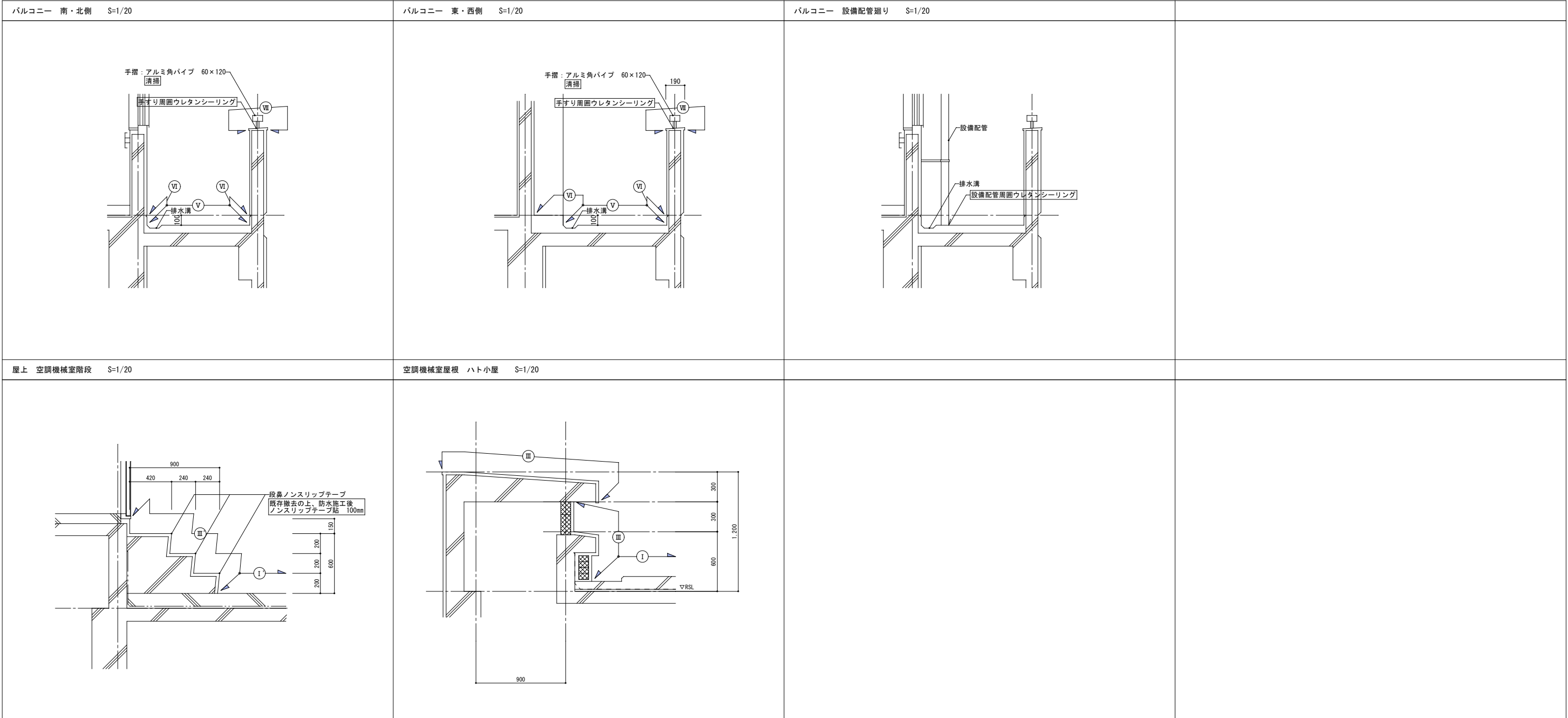


		株式会社 共同設計社 1級建築士事務所・1級建築士大臣登録第107401号 栗田 政明	設計年月日	2025年02月10日	室間	設計	製図		工事名称	24循環器・呼吸器病センターA病棟外部改修工事	図面番号	A - 23
			変更年月日						図面名称	霊安室増築部 詳細図	縮尺	A1 : 1/10・1/20・1/30 A3 : 1/20・1/40・1/60



防水改修要領

Ⅰ 既存ウレタン塗膜防水（X-1）【平場】 1. 既存防水層劣化部撤去 2. 既存防水層撤去部樹脂モルタル平滑処理 3. 下地清掃 4. プライマー塗布 5. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 6. 高耐久保護塗料仕上	Ⅰ 既存ウレタン塗膜防水（X-1）【平場】 1. 既存防水層劣化部撤去 2. 既存防水層撤去部樹脂モルタル平滑処理 3. 下地清掃 4. プライマー塗布 5. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 防滑仕上 6. 高耐久保護塗料仕上	Ⅱ 既存ウレタン塗膜防水（X-1）【平場】 1. 既存防水層全面撤去 2. 下地清掃 3. 水性アクリル系仮防水材塗布 4. 高粘性ウレタン塗膜防水通気緩衝複合工法（X-1同等） 5. 高耐久保護塗料仕上	Ⅲ 既存ウレタン塗膜防水（X-2）【立上り・パラペット笠木】 1. 下地清掃 2. プライマー塗布 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 4. 高耐久保護塗料仕上	Ⅲ 既存ウレタン塗膜防水（X-2）【空調機械室階段】 1. 下地清掃 2. プライマー塗布 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 防滑仕上 4. 高耐久保護塗料仕上
Ⅳ 既存ウレタン塗膜防水（X-2）【空調室外機基礎】 1. 既存防水層全面撤去 2. 下地清掃 3. 樹脂モルタル平滑処理 4. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 5. 高耐久保護塗料仕上	Ⅴ 既存モルタル防水金ゴテ仕上【平場・踏面・蹴上】 1. 下地清掃 2. 樹脂モルタル平滑処理 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 防滑仕上 4. 高耐久保護塗料仕上	Ⅵ 既存モルタル防水金ゴテ仕上【立上り・巾木】 1. 下地清掃 2. 樹脂モルタル平滑処理 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 4. 高耐久保護塗料仕上	Ⅶ 既存複層仕上塗材E吹付【笠木】 1. 既存塗膜除去 2. 下地清掃 3. 樹脂モルタル平滑処理 4. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 5. 高耐久保護塗料仕上	

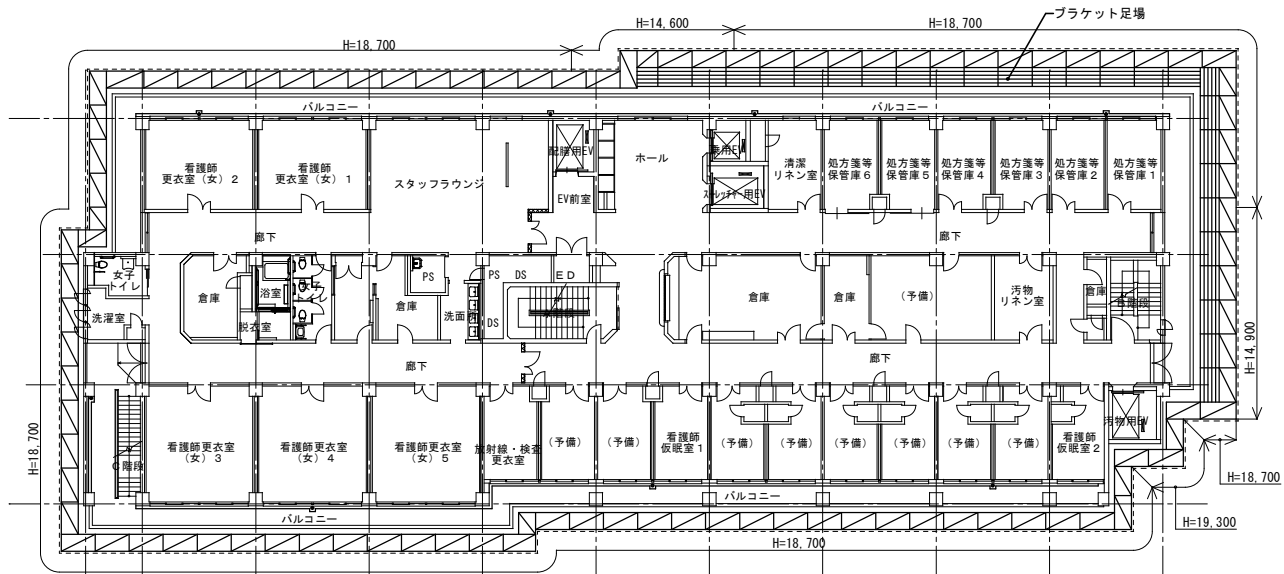


屋上 空調機械室階段 S=1/20

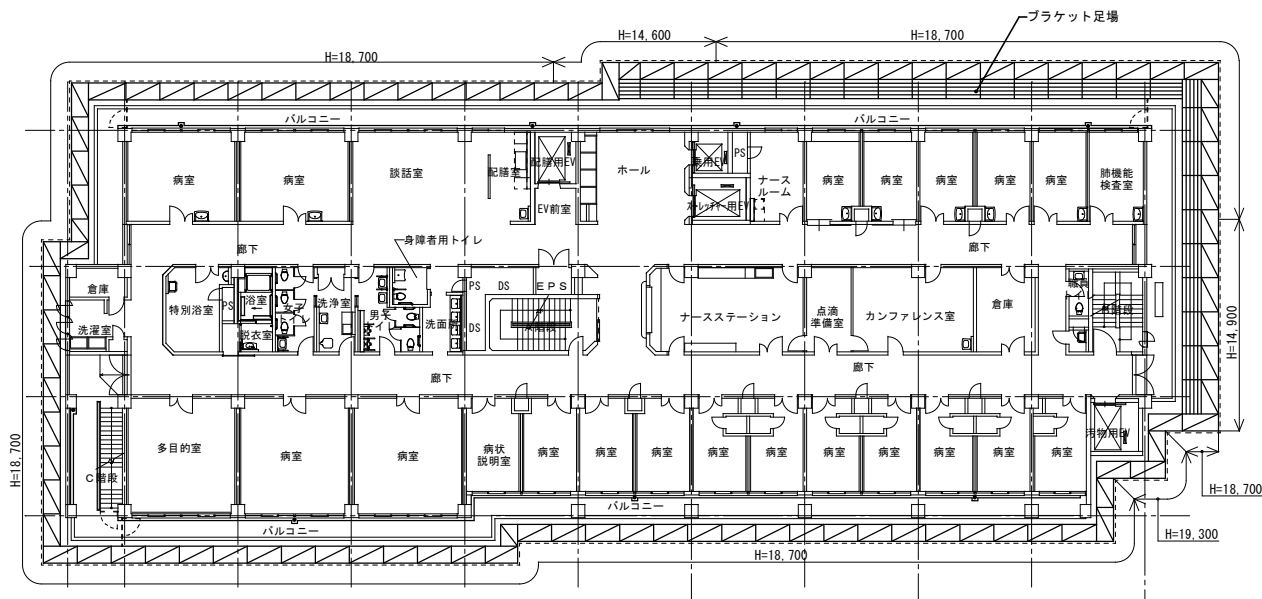
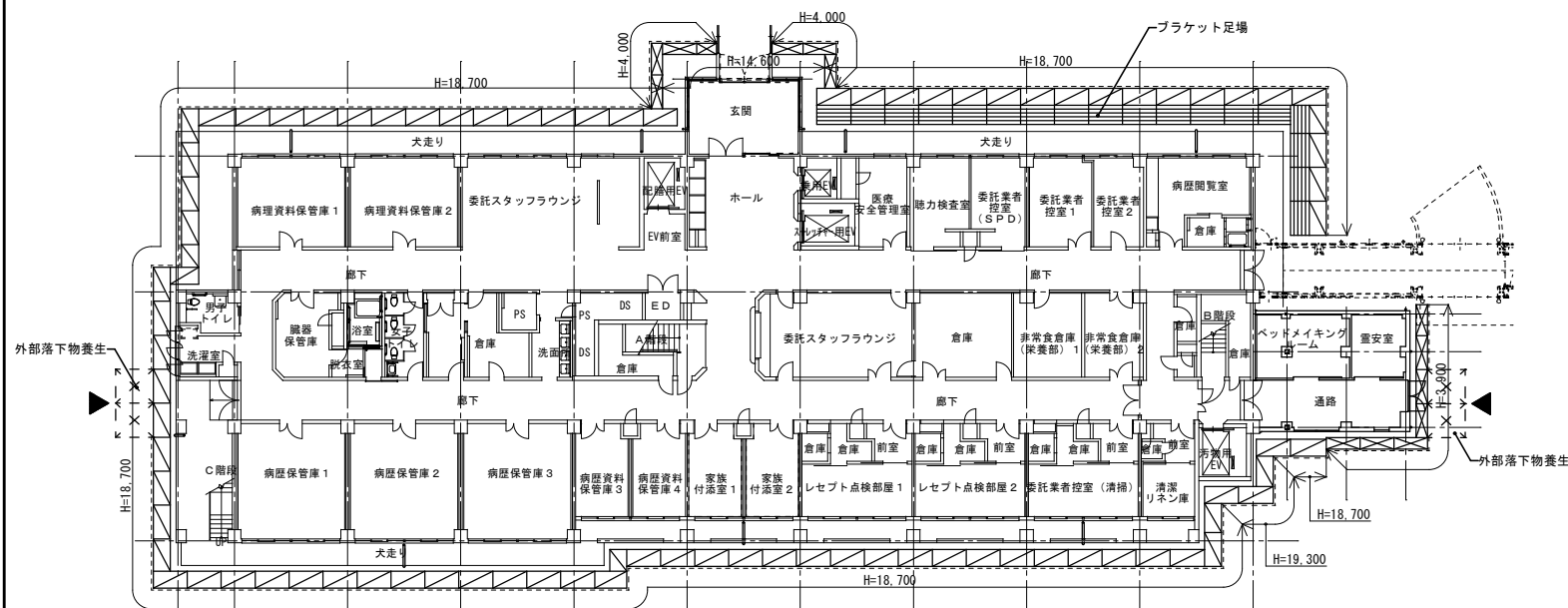
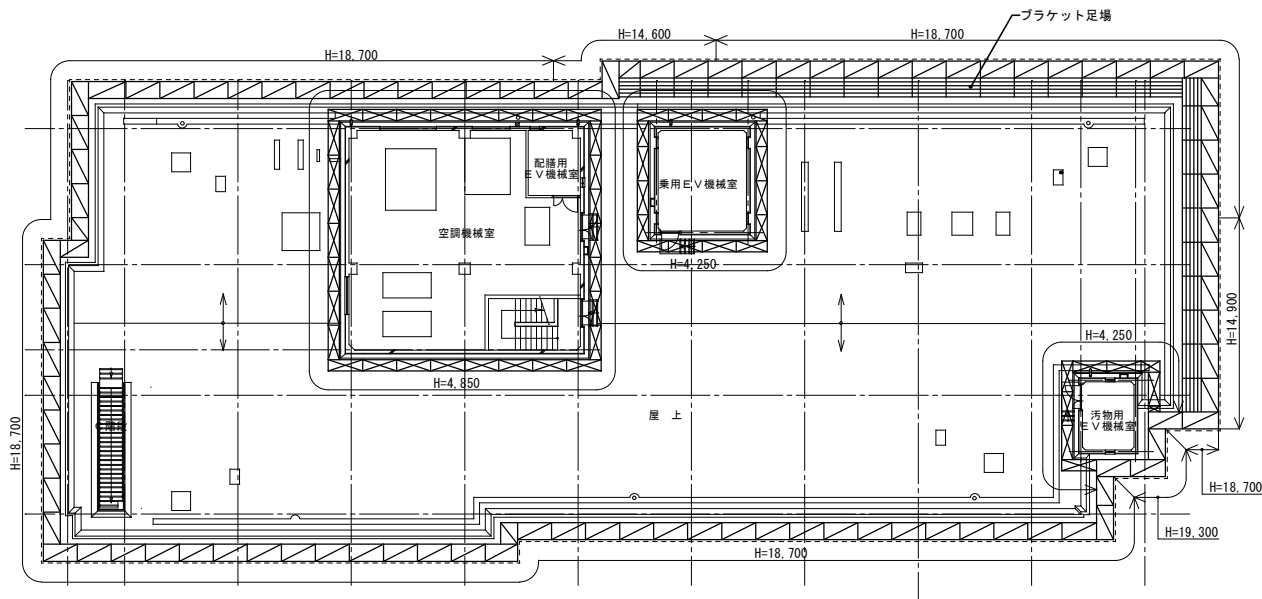
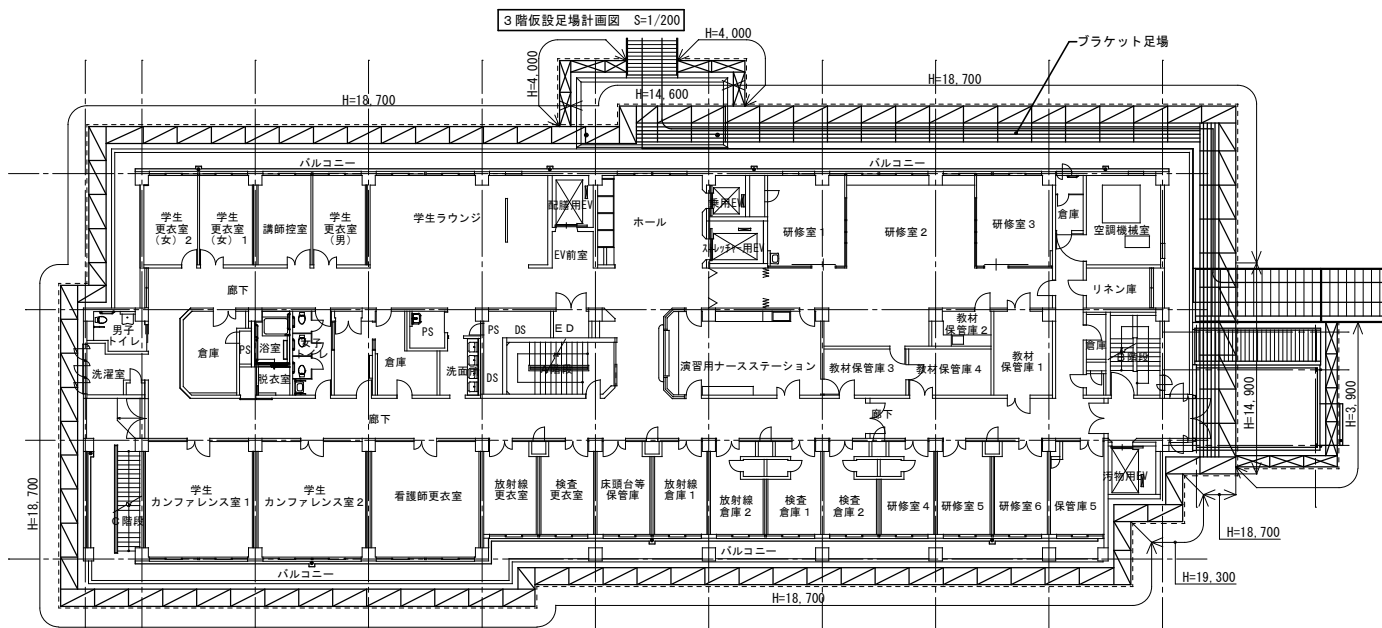
空調機械室屋根 ハト小屋 S=1/20

防水改修要領

Ⅰ 既存ウレタン塗膜防水（X-1）【平場】	Ⅰ 既存ウレタン塗膜防水（X-1）【平場】	Ⅱ 既存ウレタン塗膜防水（X-1）【平場】	Ⅲ 既存ウレタン塗膜防水（X-2）【立上り・ハット笠木】	Ⅲ 既存ウレタン塗膜防水（X-2）【空調機械室階段】
1. 既存防水層劣化部撤去 2. 既存防水層撤去部樹脂モルタル平滑処理 3. 下地清掃 4. プライマー塗布 5. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 6. 高耐久保護塗料仕上	1. 既存防水層劣化部撤去 2. 既存防水層撤去部樹脂モルタル平滑処理 3. 下地清掃 4. プライマー塗布 5. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑仕上 6. 高耐久保護塗料仕上	1. 既存防水層全面撤去 2. 下地清掃 3. 水性アクリル系仮防水材塗布 4. 高粘性ウレタン塗膜防水通気緩衝複合工法（X-1同等） 5. 高耐久保護塗料仕上	1. 下地清掃 2. プライマー塗布 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 4. 高耐久保護塗料仕上	1. 下地清掃 2. プライマー塗布 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑仕上 4. 高耐久保護塗料仕上
Ⅳ 既存ウレタン塗膜防水（X-2）【空調室外機基礎】	Ⅴ 既存モルタル防水金ゴテ仕上【平場・踏面・蹴上】	Ⅵ 既存モルタル防水金ゴテ仕上【立上り・巾木】	Ⅶ 既存複層仕上塗材E吹付【笠木】	
1. 既存防水層全面撤去 2. 下地清掃 3. 樹脂モルタル平滑処理 4. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 5. 高耐久保護塗料仕上	1. 下地清掃 2. 樹脂モルタル平滑処理 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等）防滑仕上 4. 高耐久保護塗料仕上	1. 下地清掃 2. 樹脂モルタル平滑処理 3. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 4. 高耐久保護塗料仕上	1. 既存塗膜除去 2. 下地清掃 3. 樹脂モルタル平滑処理 4. 高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2同等） 5. 高耐久保護塗料仕上	



凡 例	
	枠組本足場（手摺先行方式） 900W ネット状養生シート張り（防災Ⅰ類）
	枠組本足場（手摺先行方式） 600W ネット状養生シート張り（防災Ⅰ類）
	ブラケット足場を示す。
	外部落下物養生 朝顔（枠組本足場用）を示す。
	施設利用者用出入口を示す。



株 式 会 社 共 同 設 計 社

1級建築士事務所 1級建築士大臣登録第107401号 栗田 政明

設計年月日 2025年02月10日
変更年月日

室間 設計 製図

工事名称 24循環器・呼吸器病センターA病棟外部改修工事
図面名称 仮設足場計画図（参考）

図面番号 A - 28
縮尺 A1: 1/200 (A3: 1/400)